

農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所 水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事（計画保全）

NO	図面名称	No.	図面名称
M-00	表紙・図面リスト	E-01	電気設備特記仕様書（1）
M-01	機械設備特記仕様書（1）	E-02	電気設備特記仕様書（2）
M-02	機械設備特記仕様書（2）	E-03	分電盤 単線結線図（改修前・改修後）
M-03	機械設備特記仕様書（3）	E-04	電気工事凡例 / 照明器具 機器姿図
M-04	案内図・配置図	E-05	電灯設備 平面図（改修後）
M-05	換気設備機器表	E-06	動力設備 平面図（改修図）
M-06	換気設備図（撤去）	E-07	電灯設備 平面図（撤去図）
M-07	換気設備図（改修）	E-08	動力設備 平面図（撤去図）
M-08	空調設備器機表	E-09	弱電設備 平面図（取外し再取付）
M-09	空調設備図（撤去）		
M-10	空調設備図（改修）		
M-11	天井伏図（改修前・後）		
M-12	仮設計画図（参考図）		

記 録	訂 正

A

株式会社

TQ KQ

東宏設計

事務所

一級建築士事務所登録（千）第1-2401-440号

一級建築士登録第228307号

大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事（計画保全）	図 番 M-00
	2025.09.01		図 名	表紙・図面リスト	
			縮 尺	A1：N/S A3：N/S	

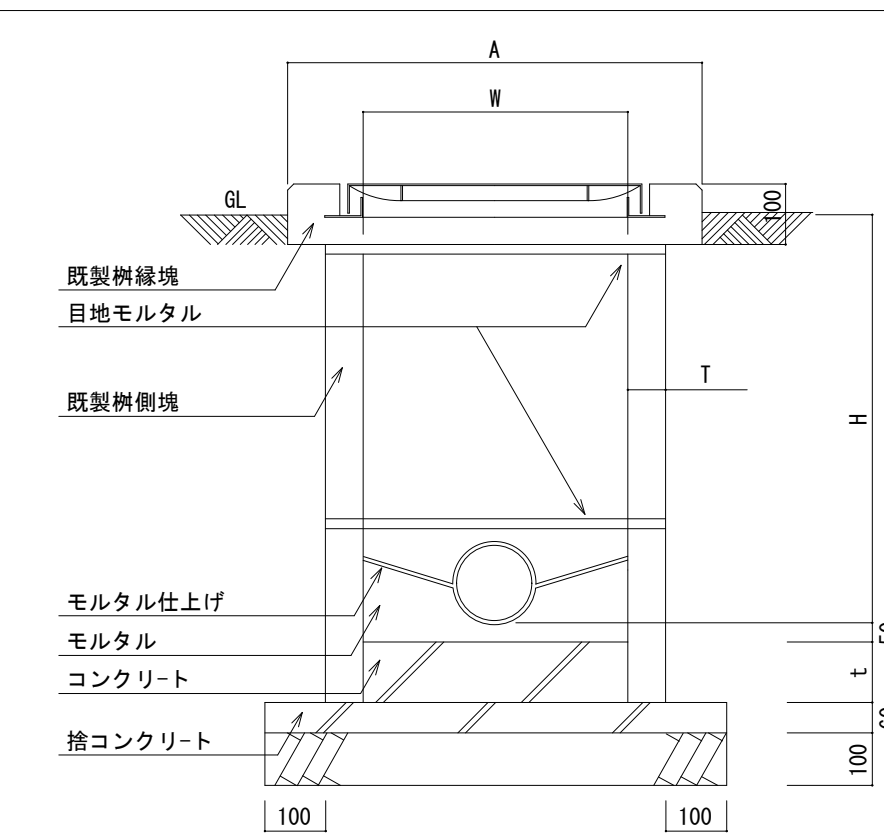
章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項		章 項 目		特 記 事 項					
● 設計用温湿度	○ 鋼 板 製 煙 道 ○ ダ ク ト	○ 風 量 測 定 口 ○ チ ャ ン パ ー	● 配 管 材 料	○ 下表による。 ● (JIS B8616)の温度条件による。	○ 給 管 材 料 給 ○ 水 栓 ○ 量 水 器 ○ 量 水 器 樹 ○ 絶縁継手 設 ○ 井 類 ○ 管の地中埋設深さ ○ 水 栓 柱 ○ 建物導入部配管 ○ 引込納付金等	(1) 一般配管 ○ (2) 地中埋設配管 ○ (3) 水道直結配管 ○ (○) ○ 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 ○ 水抜栓を使用する場合、水栓は固定こま式とする。 (○ ただし、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。) ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 水道事業者指定品 (○ 賃与品 ○ 買取り) ○ 標準図 MC 形 図示の位置に取付ける。 JIS 又は JV (○ 水道直結部分 (○ 10K ○) ○ その他の部分 (○ 5K ○) ○ ステンレス配管を使用する場合の材質はステンレス製とする。 ○ 管の上端より原則として、一般敷地は (cm) 構内道路は (cm) 以上とする。 ○ 合成樹脂製 ○ アルミニウム合金製 ○ 人造石とぎ出し製 ○ ステンレス製 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) の (○ (a) ○ (b) ○ (c) ○ (d) ○ (e)) による。 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要	● 撤 去 内 容 ● 保 温 材 ● 支持金物等 ● 石綿含有品 ● 発生材の処理 去 工 事 ● 冷媒 (フロン類) の回収	● 図示による。 ○ 保温材は、配管・ダクト等より分離する。 ダクト及び配管等の支持金物及び吊り金物は本工事にて撤去する。 撤去方法 ● 図示による ○ ● 金属類 (● 機器類 ● ダクト ● 配管 ● その他金属類) の処理は (○ 構外搬出適切処理 (○) とする。 ○ 特別管理産業廃棄物 (○) の処理は (○ 構外搬出適切処理 (○ 別途) とする。 ● 石綿含有産業廃棄物 (○ 配管用成形保温材 ○ フランジ用ガスケット) の処理は (● 構外搬出適切処理 (○ 別途) とする。 ● 上記以外のもの (○) の処理は (● 構外搬出適切処理 ○ 別途) とする。 ○ 建設リサイクル法における再資源化等を行なう特定建設資材の構外搬出処理を本工事とする。 ● 本工事 ○ 別途 冷凍機等の撤去に伴う冷媒の回収方法は、改修標準仕様書第3編2. 4. 3により、次の書類を監督職員に提出する。 ● フロン回収行程管理表の写し ○ 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し	○ なし ○ あり (○ 自然換気口 ○ ガス抜き管 ○ 強制換気装置 ○ ガス検知器 ○ その他 ()) ○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。						
				伸縮継手、掃除口及びばいじん量測定口の位置は図示による。 鋼板厚 (○ 3.2mm ○ 4.5mm) ○ 低圧ダクト (○ コーナーボルト工法 (長辺の長さが1,500mm以下の部分) ○ アングルフランジ工法 ○ スパイラルダクト) とする。 ○ 高圧ダクトの適用範囲は図示による。 ○ ステンレスダクト及び塩化ビニルダクトの仕様及び適用範囲は図示による。 取り付け箇所は図示による。 (1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外示を示す。 (2) 空気調和機に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパー及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには点検口を設け、点検口の大きさは図示による。 (3) ガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。 (1) 防煙ダンパー 復旧方式 (○ 遠隔 ○) 定格入力はDC24V、0.7A以下とする。 (2) ビストンダンパー 復旧方式 (○ 遠隔 ○) (1) 冷温水管 ○ (2) 冷却水管 ○ (3) 油 管 ○ (4) 蒸 気 管 給気管 ○ 還 管 ○ (5) 高温水管 ○ (6) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 (7) ドレン管 ● 硬質ポリ塩化ビニル管 (8) 冷媒管 ● 冷媒用断熱材被覆銅管 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ 65A以上の冷温水・冷却水用弁装置の仕切弁はバタフライ弁とする。 ○ 鋼管用伸縮継手の種類は図示による。 ○ ステンレス鋼管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 ○ ファンコイルユニットと冷温水管の接続部 (往・還) には、ボール弁を取付ける。 ○ ファンコイルユニットには、 ○ 流量調整弁 ○ 定流量弁 を設置する。						○ 配 管 材 料 (1) 屋 内 汚 水 管 ○ 雑排水管 ○ 通気管 ○ ポンプアップ排水管 ○ (2) 屋 外 第一樹まで ○ 樹 間 ○ 洗面器に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップとする。 台所流し等の床上露出部分の配管は、ビニル管 (RF-VP) でもよい。 大便器、小便器、洗面器及び掃除流しとの接続管は、ビニル管 (RF-VP) でもよい。 ○ 標準仕様書第2編 2.4.8(5)による。 ○ 図示の箇所に取り付ける。 ○ プラスチック樹 (○ 標準図による。) ○ コークリット樹 (○ 標準図による。 ○ 本図面の施工要領図による。) ○ ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要	○ 上ガス対策 ○ 自然換気口 ○ ガス抜き管 ○ 強制換気装置 ○ ガス検知器 ○ その他 () ○ 施工にあたって、防災上必要な措置を講じること。				
				○ 温度計 ○ 圧 力 計 ○ 瞬間流量計 ○ 油面制御装置 ○ 絶縁継手 ● 保 温 及 び 消 音 内 貼 り						○ 配 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。	○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防 食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽 ○ 仕 様 等 ○ 設 備 方 式 ○ 仕 様 等	○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 (供給者名 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途 (○ 50kg ○) × 本 ○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。 ○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。 ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 模型 ○ 整型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)	○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害
				○ 給 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。						○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防 食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽 ○ 仕 様 等 ○ 設 備 方 式 ○ 仕 様 等	○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 (供給者名 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途 (○ 50kg ○) × 本 ○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。 ○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。 ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 模型 ○ 整型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)	○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害	
				○ 給 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。						○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防 食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽 ○ 仕 様 等 ○ 設 備 方 式 ○ 仕 様 等	○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 (供給者名 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途 (○ 50kg ○) × 本 ○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。 ○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。 ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 模型 ○ 整型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)	○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害	
				○ 給 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。						○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防 食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽 ○ 仕 様 等 ○ 設 備 方 式 ○ 仕 様 等	○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 (供給者名 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途 (○ 50kg ○) × 本 ○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。 ○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。 ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 模型 ○ 整型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)	○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害	
				○ 給 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。						○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防 食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽 ○ 仕 様 等 ○ 設 備 方 式 ○ 仕 様 等	○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 (供給者名 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途 (○ 50kg ○) × 本 ○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。 ○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。 ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 模型 ○ 整型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)	○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害	
				○ 給 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。						○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防 食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽 ○ 仕 様 等 ○ 設 備 方 式 ○ 仕 様 等	○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 (供給者名 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途 (○ 50kg ○) × 本 ○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。 ○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。 ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 模型 ○ 整型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)	○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害	
				○ 給 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。						○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防 食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽 ○ 仕 様 等 ○ 設 備 方 式 ○ 仕 様 等	○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 (供給者名 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途 (○ 50kg ○) × 本 ○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。 ○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。 ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 模型 ○ 整型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)	○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害	
				○ 給 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。						○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防 食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽 ○ 仕 様 等 ○ 設 備 方 式 ○ 仕 様 等	○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 (供給者名 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途 (○ 50kg ○) × 本 ○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。 ○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。 ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 模型 ○ 整型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)	○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害	
○ 給 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。	○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防 食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽 ○ 仕 様 等 ○ 設 備 方 式 ○ 仕 様 等	○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 (供給者名 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途 (○ 50kg ○) × 本 ○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。 ○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。 ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 模型 ○ 整型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)	○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害										
○ 給 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。	○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防 食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽 ○ 仕 様 等 ○ 設 備 方 式 ○ 仕 様 等	○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 (供給者名 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途 (○ 50kg ○) × 本 ○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。 ○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。 ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 模型 ○ 整型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)	○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害										
○ 給 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。	○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防 食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽 ○ 仕 様 等 ○ 設 備 方 式 ○ 仕 様 等	○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 (供給者名 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途 (○ 50kg ○) × 本 ○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。 ○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。 ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 模型 ○ 整型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)	○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害										
○ 給 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。	○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防 食 ○ 引込負担金等 ○ バルク貯槽 ○ 仕 様 等 ○ 設 備 方 式 ○ 仕 様 等	○ ドライシステム ○ 図示による。 図示による。 (供給者名 発熱量 MJ/m3 (N)) ○ 都市ガス ○ 液化石油ガス ○ 都市ガス ○ ガス事業者の供給規定による。 ○ 液化石油ガス (1) 一 般 ○ (2) 地 中 ○ 別途 (○ 50kg ○) × 本 ○ 標準図 (液化石油ガス容器廻り配管要領) による 本組。 ○ 標準図 (液化石油ガス容器転倒防止施工要領) (○ (a) ○ (b)) による。 ○ 親メーター (賃与品) (○ 直読式 ○ バルス式 (バルス発信器は ○ 買い取り)) ○ 子メーター (買い取り) (○ 直読式 ○ バルス式) ○ 本工事 (図示による) ○ 別途工事 外部警報端子 (○ 無 ○ 有) ○ 要 ○ 不要 ○ 要 ○ 不要 ○ 要 (○ 別途工事 ○ 本工事) ○ 不要 ○ 模型 ○ 整型 (液化石油ガス貯蔵能力 kg)	○ 排水処理設備 ○ 雨水利用設備	○ 排水再利用 ○ 浄化槽 ○ 厨房除害										
○ 給 管 材 料 給 湯 ○ 保 温 ○ 配 管 材 料 JIS 又は JV (○ 5K ○ 10K (図示部分)) ○ ステンレス配管に取付ける弁類は、ステンレス製とする。 湯沸器の給排水管 (二重管) の隠ぺい箇所は保温を行う。なお、保温の種類は標準仕様書第2編 3.1.5表 2.3.5の h・(イ)・IXとする。	○ 配 管 材 料 (1) 屋内消火栓 一 般 ○ 地 中 ○ (2) 連絡送水管 一 般 ○ 地 中 ○ (3) ○ ○ 易操作性1号消火栓 ○ 2号消火栓 ○ 広範囲型2号消火栓 ○ ○ 10k 屋外露出配管は標準仕様書第2編 3.1.5 e2・(ハ)・VIIによる保温を行う。 標準図 (建物導入部の変位吸収配管要領) (○ (a) ○ (b) ○ (c)) による。 別図による。 別図による。	○ シス テ ム ○ 厨房設備 ○ ガス 種 別 ○ 配 管 材 料 ○ 充て ん 容 器 ○ 集 合 装 置 ○ 転 倒 防 止 等 ○ メ ー タ ー ○ ガス漏れ警報器 ○ 漏洩検知装置 ○ 電 気 防													

区分			項目	施工箇所	保温材		保温仕様		外装材			
					GW	RW	PSF		SUS	AL		
給排水衛生設備配管	給水管	給水管	屋内露出（一般居室、廊下）		○	○	○		—	—		
	排水管・通気管	排水管・通気管	屋内露出（一般居室、廊下）		○	○	○	保温箔＋鉄線（PSFの場合粘着テープ）	—	—		
	排水管	給湯管			○	○	○	＋合成樹脂製カバー	—	—		
	（屋外露出、床下、暗室内は除く。）	給水管	機械室、書庫、倉庫		○	○	○	保温箔＋鉄線（PSFの場合粘着テープ）	—	—		
	（空調機等の排気管を含む。）	給水管	天井内、パイプシャフト内、空腔壁中		○	○	○	＋原紙＋アルミガラスクロス	—	—		
	通気管	排水管・通気管	空腔壁中		○	○	○	アルミガラスクロス化樹脂保温箔	○	○		
	（屋外露出、床下、暗室内は除く。）	給湯管	天井内、パイプシャフト内、空腔壁中		○	○	○	＋アルミガラスクロス粘着テープ	—	—		
	（排水管の分岐点より100mm以下の部分）	給水管・消火管	屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）		○	○	○	保温箔＋鉄線（PSFの場合粘着テープ）	—	—		
	消火管	給湯管	浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		○	○	○	＋ポリエチレンフィルム＋外装材	○	○		
	（屋外露出部分のみ）	給湯管	雨梁内（ピット内含む）		○	○	○	保温箔＋鉄線（PSFの場合粘着テープ）	—	—		
給湯管（膨張管含む）	保温厚	グラスウール保温箔（GW） ロックウール保温箔（RW） ポリスチレンフォーム保温箔（PSF）	温水管 温水管 温水管	80A以下：20mm、100A～150A：25mm、200A以上：40mm	80A以下：20mm、100A以上：25mm							
給排水衛生設備機器	鍋製タンク	鍋製タンク	屋内		○	○	○	鉄（PSFの場合銀又は接着剤）	○	—		
	排気筒	排気筒	屋外		○	○	○	＋保温板（厚さ25mm）	—	—		
	貯湯タンク	貯湯タンク	屋内		○	○	○	＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	○	—		
	貯湯タンク	貯湯タンク	屋外		○	○	○	鉄＋保温板（厚さ25mm）＋鉄線＋外装材	○	—		
	排気筒	排気筒	屋根への箇所		○	○	○	保温箔（厚さ50mm）＋鉄線	—	—		
					○	○	○	＋アルミガラスクロス＋金網	○	—		
	空調設備配管	温水管	温水管	屋内露出（一般居室、廊下）		○	○	○	保温箔＋鉄線＋合成樹脂製カバー	—	—	
		（膨張管含む）	温水管	屋内露出（一般居室、廊下）		○	○	○	保温箔＋鉄線＋原紙	—	—	
		排気管	排気管	機械室、書庫、倉庫		○	○	○	アルミガラスクロス	—	—	
		温水管	温水管	天井内、パイプシャフト内、空腔壁中		○	○	○	アルミガラスクロス化樹脂保温箔	○	○	
排気管		排気管	空腔壁中		○	○	○	＋アルミガラスクロス粘着テープ	—	—		
温水管		温水管	屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）		○	○	○	保温箔＋鉄線	—	—		
排気管		排気管	浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		○	○	○	＋ポリエチレンフィルム＋外装材	○	○		
温水管		温水管	雨梁内（ピット内含む）		○	○	○	保温箔＋鉄線＋ポリエチレンフィルム	○	—		
保温厚		保温厚	グラスウール保温箔（GW） ロックウール保温箔（RW）	温水管 蒸気管	80A以下：20mm、100A～150A：25mm、200A以上：40mm 25A以下：20mm、32A～50A：30mm、65A以上：40mm			＋着色アルミガラスクロス				
冷水管		冷水管	冷水管	屋内露出（一般居室、廊下）		○	○	○	保温箔＋鉄線（PSFの場合粘着テープ）	—	—	
	（膨張管含む）	冷水管	屋内露出（一般居室、廊下）		○	○	○	＋ポリエチレンフィルム	—	—		
	冷水管	冷水管			○	○	○	＋合成樹脂製カバー	—	—		
	冷水管	冷水管			○	○	○	保温箔＋鉄線＋ポリエチレンフィルム	—	—		
	冷水管	冷水管			○	○	○	＋原紙＋アルミガラスクロス	—	—		
	冷水管	冷水管			○	○	○	保温箔＋粘着テープ	—	—		
	冷水管	冷水管			○	○	○	＋ポリエチレンフィルム	—	—		
	冷水管	冷水管			○	○	○	＋アルミガラスクロス	—	—		
	冷水管	冷水管			○	○	○	保温箔＋鉄線（PSFの場合粘着テープ）	—	—		
	冷水管	冷水管			○	○	○	＋ポリエチレンフィルム	—	—		
冷媒管（断熱材被覆装置）	冷媒管	冷媒管	天井内、パイプシャフト内、空腔壁中		○	○	○	保温箔＋鉄線（PSFの場合粘着テープ）	—	—		
	冷媒管	冷媒管	天井内、パイプシャフト内		○	○	○	＋ポリエチレンフィルム	—	—		
	冷媒管	冷媒管	天井内、パイプシャフト内		○	○	○	＋アルミガラスクロス	—	—		
	冷媒管	冷媒管	屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）		○	○	○	保温箔＋鉄線（PSFの場合粘着テープ）	○	○		
	冷媒管	冷媒管	浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		○	○	○	＋ポリエチレンフィルム＋外装材	○	○		
	冷媒管	冷媒管			○	○	○	保温箔＋鉄線（PSFの場合粘着テープ）	—	—		
	冷媒管	冷媒管			○	○	○	＋ポリエチレンフィルム	—	—		
	冷媒管	冷媒管			○	○	○	＋着色アルミガラスクロス	—	—		
	冷媒管	冷媒管			○	○	○	保温箔＋鉄線（PSFの場合粘着テープ）	—	—		
	冷媒管	冷媒管			○	○	○	＋ポリエチレンフィルム	—	—		
空調設備配管	温水管	温水管	グラスウール保温箔（GW） ロックウール保温箔（RW）	冷水管・冷温水管 冷水管（水温度2～4℃）	25A以下：30mm、32A～200A：40mm、250A以上：50mm							
	保温厚	保温厚	ポリスチレンフォーム保温箔（PSF）	冷水管・冷温水管 冷水管（水温度2～4℃） プライ管	25A以下：30mm、32A～200A：40mm、250A以上：50mm 20A以下：30mm、25A～100A：40mm、125A以上：50mm 25A以下：40mm、25A～80A：50mm、100A以上：65mm							
	ガス管保温厚	ガス管保温厚	20mm以上		液管保温厚10mm以上							
	冷媒管（断熱材被覆装置）	外装材	外装材	屋内露出（一般居室、廊下） 機械室、書庫、倉庫 屋外露出		○	○	○	○	○	○	
		空調設備機器	冷水管ヘッダー	冷水管ヘッダー	屋内		○	○	○	鉄（PSFの場合銀又は接着剤）	○	—
			冷水管ヘッダー	冷水管ヘッダー	屋内		○	○	○	＋保温板（厚さ50mm）	—	—
			冷水管タンク	冷水管タンク	屋外		○	○	○	＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	○	—
			冷水管タンク	冷水管タンク			○	○	○		—	—
			温水ヘッダー	温水ヘッダー	屋内		○	○	○	鉄＋保温板（厚さ50mm）＋鉄線＋外装材	○	—
			蒸気ヘッダー	蒸気ヘッダー	屋内		○	○	○		—	—
温水タンク			温水タンク	屋外		○	○	○		—	—	
熱交換器			熱交換器	屋外		○	○	○		—	—	
熱交換器			熱交換器	屋内		○	○	○	鉄＋保温板（厚さ25mm）＋鉄線＋外装材	○	—	
熱交換器	熱交換器		屋内		○	○	○	鉄＋保温板（厚さ50mm）＋鉄線＋外装材	○	—		
空調設備配管	長方形ダクト（全熱交換機用ダクトは、保温厚25mmとする）	長方形ダクト（全熱交換機用ダクトは、保温厚25mmとする）	機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内		○	○	○	鉄＋アルミガラスクロス化樹脂保温板（厚さ25mm）＋アルミガラスクロス粘着テープ	—	—		
	屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）	屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）	浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		○	○	○	鉄＋保温板（厚さ50mm）＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	—	—		
	天井内、パイプシャフト内、空腔壁中	天井内、パイプシャフト内、空腔壁中	天井内、パイプシャフト内、空腔壁中		○	○	○	保温板（厚さ50mm）＋外装材	○	—		
	スライダルダクト（全熱交換機用ダクトは、保温厚25mmとする）	スライダルダクト（全熱交換機用ダクトは、保温厚25mmとする）	機械室、書庫、倉庫、屋内隠ぺい、ダクトシャフト内		○	○	○	アルミガラスクロス化樹脂保温板（厚さ23mm）＋アルミガラスクロス粘着テープ	○	○		
	屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）	屋外露出（バルコニー、開放廊下含む）	浴室、厨房等の多湿箇所（厨房の天井内は含まない）		○	○	○	保温板（厚さ50mm）＋ポリスチレンフィルム＋鉄線＋外装材	○	○		
	消音内張り	消音内張り	消音チャンバー		○	○	○	鉄＋保温板（厚さ50mm）＋ガラスクロス＋金網	—	—		
	消音チャンバー・消音エルボ	消音チャンバー・消音エルボ			○	○	○	鉄＋保温板（厚さ25mm）＋ガラスクロス	—	—		
	排煙ダクト	排煙ダクト	長方形	屋内隠ぺい		○	○	鉄＋アルミガラスクロス化樹脂保温板（厚さ23mm）＋アルミガラスクロス粘着テープ	○	○		
	内形	内形	屋内隠ぺい		○	○	○	アルミガラスクロス化樹脂保温板（厚さ25mm）＋アルミガラスクロス粘着テープ＋きつ甲金網	○	○		
	煙道	煙道	長方形 内形		○	○	○	ブラケット（厚さ75mm）＋鉄線＋外装材	○	○		

※ 凡例 保温材 GW：グラスウール保温材 RW：ロックウール保温材 PSF：ポリスチレンフォーム保温材
外装材 ｵ：塗装重鉛系塗装 ｵ鋼板 SUS：ステンレス鋼板 AL：溶融アルミニウム-鉛鋼板
※ 不燃材以外の配管が建築基準法施行令第112条第20項に規定する準耐火構造等の防火区画を貫通する場合貫通部より1m以上はロックウール保温材を使用すること
※ 配管の保温は、継手及び弁類を含む。図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、標準仕様書による。

[illegible]

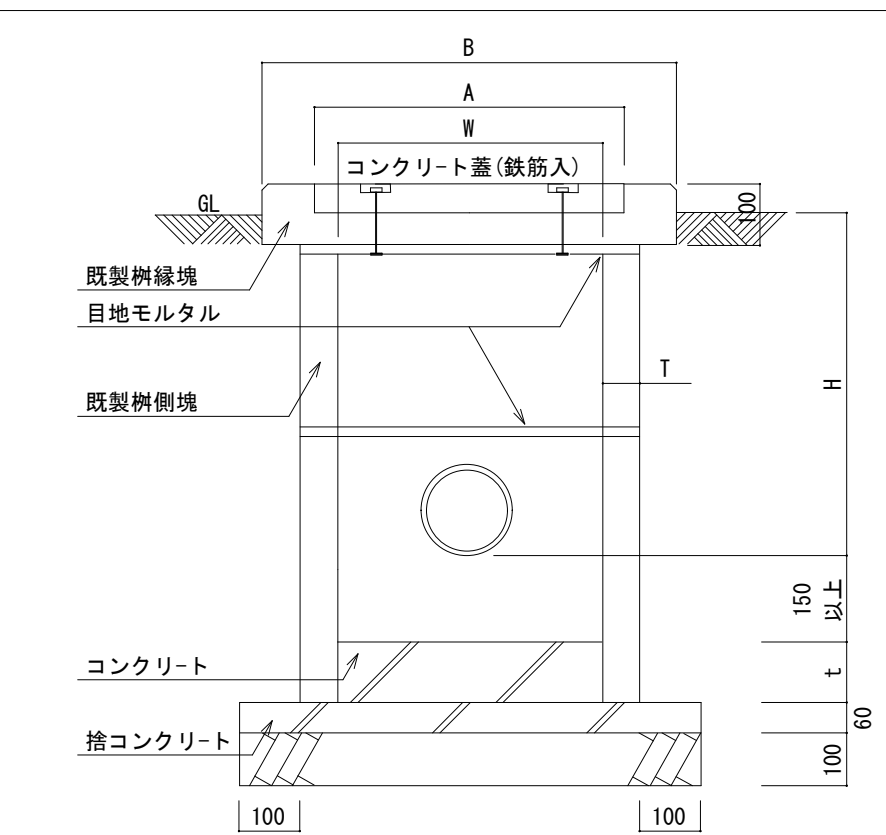
インバート樹 施工要領図 S-1 ・ S-2



寸法	深さ	H=600以下	H=600超
		S-1	S-2
W		450×450	600×600
T		45	50
t		100	120
A		700	850

1. 蓋は鋳鉄製防臭蓋とする。
(鎖付き、汚水マーク入り)
2. 既製樹側塊、縁塊は、すべて鉄筋入りとする。
3. 既製樹側塊、縁塊は、ズレを防止する構造とする。

ため樹 施工要領図 R-1 ・ R-2



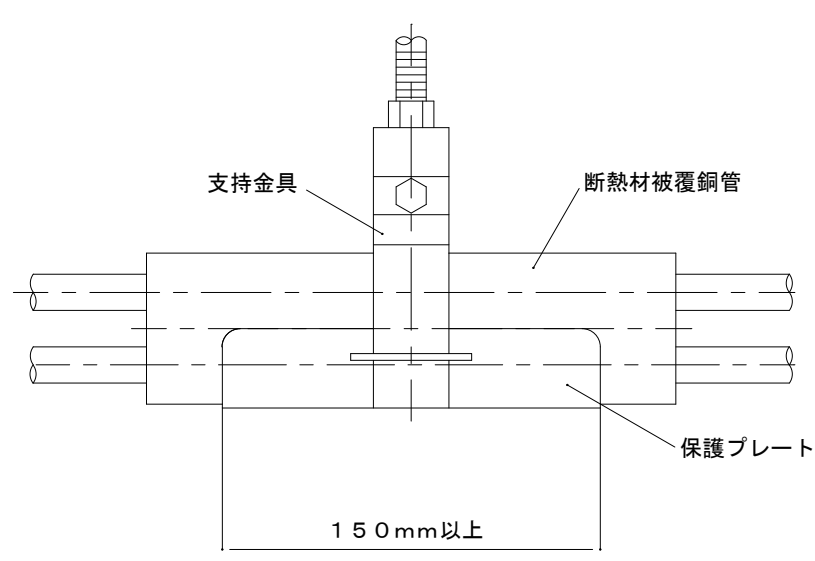
深さ 寸法	H=600以下	H=600超
	R-1	R-2
W	450×450	600×600
A	520×520	670×670
B	650×650	800×800
T	45	50
t	100	120

1. コンクリート蓋は、既製樹用とし、鉄入とする。
2. 既製樹側塊、縁塊は、すべて鉄筋入りとする。
3. 鋳鉄蓋を使用する場合は汚水樹に準ずる。

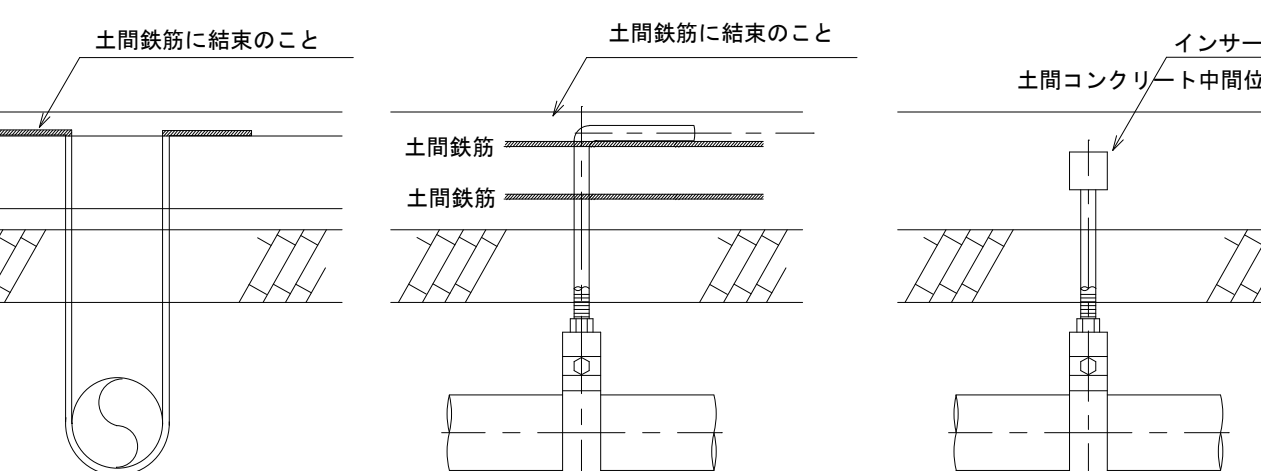
別表－１

機　材　等	

冷媒配管支持要領



土間下配管詳細図



土間地下中配管は、 $\phi 9$ 鉄筋（タールエポキシ塗リ）にて、U字型支持のこと。
支持間隔は、仕様による。

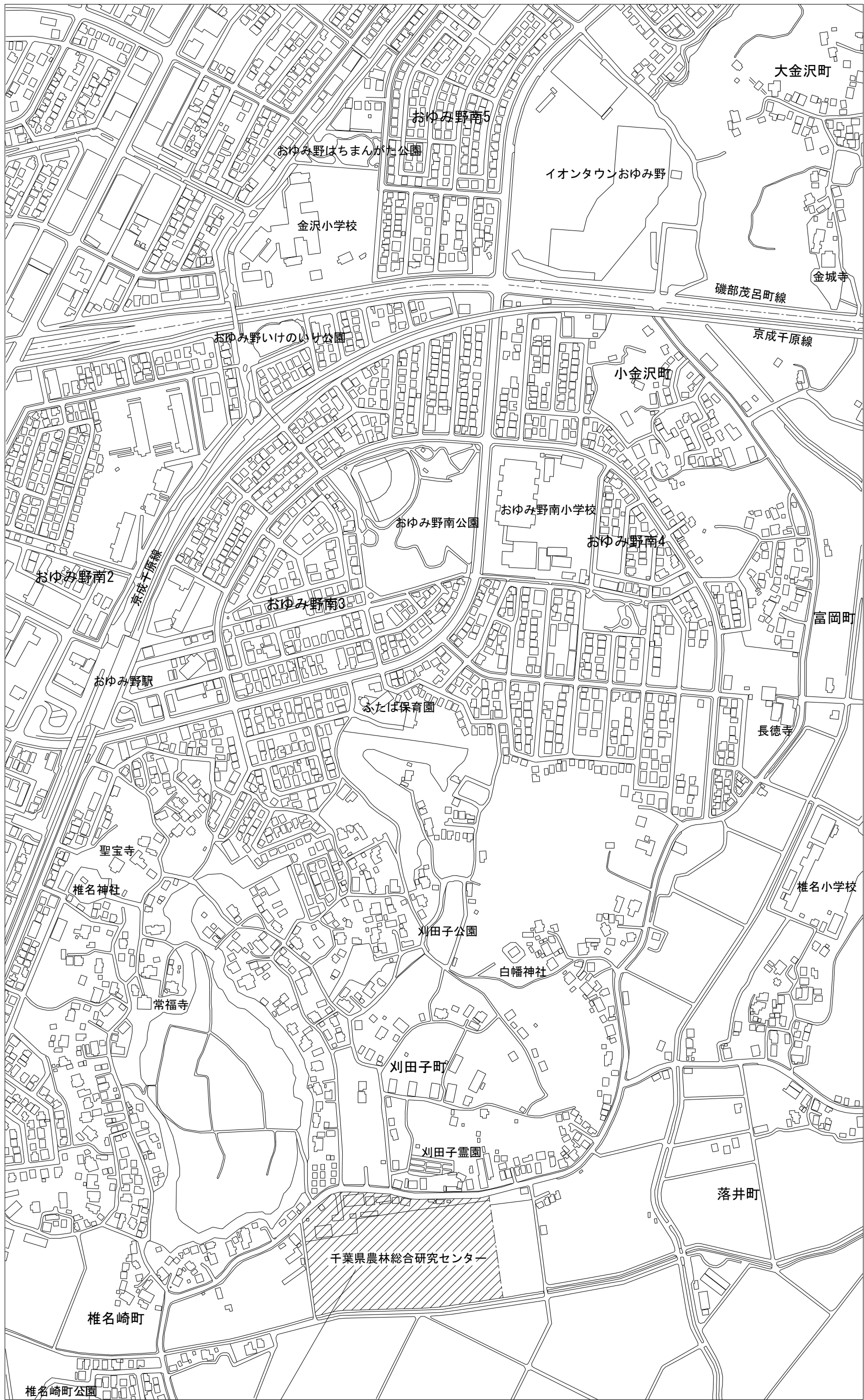
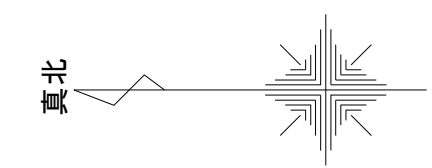
吊りバンド、棒鋼はステンレス製とする。棒鋼を土間鉄筋に結束する場合は、直接、接しないよう電蝕防止策を施すこと。
支持間隔は、仕様による。

吊りバンド、棒鋼はステンレス製とする。棒鋼を土間鉄筋に仮止めする場合は、直接、接しないよう電蝕防止策を施すこと。
支持間隔は、仕様による。

樹蓋仕様

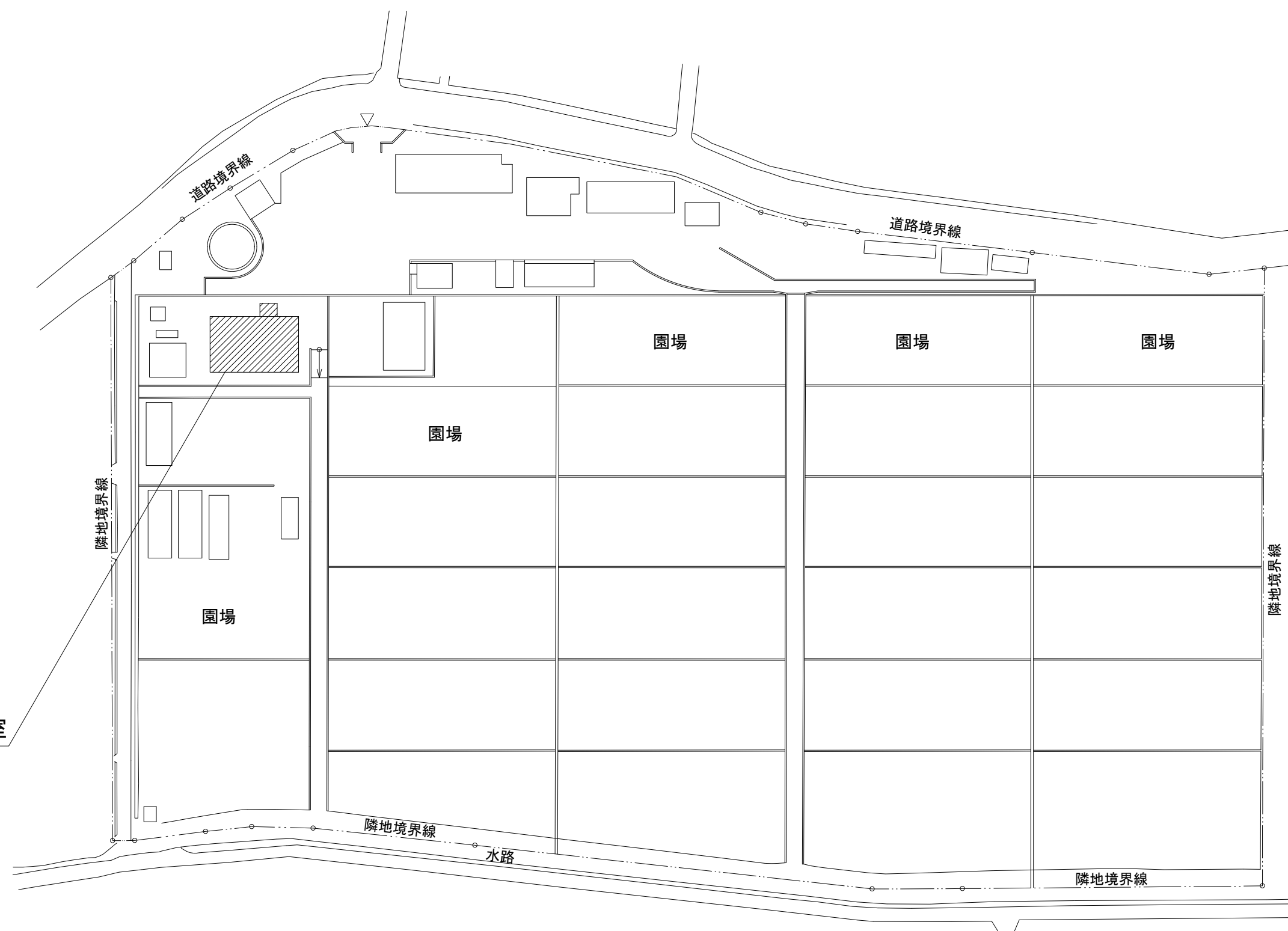
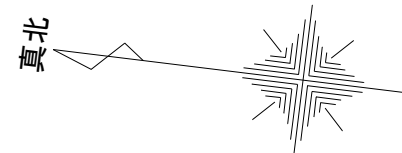
The diagram illustrates a cross-section of a tree cover structure. Key dimensions and components are labeled as follows:

- 100**: Width of the base structure.
- 150**: Height of the base structure.
- 100**: Depth of the base structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top structure.
- 100**: Width of the top structure.
- 100**: Height of the top



工事場所：
千葉市緑区刈田子町85番地
(農林総合研究センター)

案内図



配置図

(注記)
図中の  は改修建物を示す。

記 録	訂 正

株式会社

TO KO

東宏設計

事務所

一級建築士事務所登録(千)

第1-2401-440号

一級建築士登録第228307号

大木建雄

設 計	日 付	承 認	名 称 農林総合研究センター水稻・畑地園芸研究所水稻温暖化対策研究室空調設備改修工事(計画保全)	図 番
	2025. 7. 27		図 名 案内図・配置図	M-04
			縮 尺 A1 : 1/1000 A3 : 1/2000	

換気設備撤去機器表

機器番号	機器名称	設置場所		機器仕様	台数	電動機			備考
		階	室名			W	V	φ	
AEX-1	全熱交換器	1	研究室	風量 500m3/h φ200 シロッコファン 天井埋込形	1		100	1	
				本体 銅板 給排気グリルx2 丸形フードx2					
AEX-2	全熱交換器	1	栽培実験室	風量 500m3/h φ200 シロッコファン 天井埋込形	1		100	1	
				本体 銅板 給排気グリルx2 丸形フードx2					
AEX-3	全熱交換器	1	会議室	風量 650m3/h φ250 シロッコファン 天井埋込形	1		100	1	
				本体 銅板 給排気グリルx2 丸形フードx2					
AEX-4	全熱交換器	1	精密機器室	風量 350m3/h φ200 シロッコファン 天井埋込形	1		100	1	
				本体 銅板 給排気グリルx2 丸形フードx2					
AEX-5	全熱交換器	1	化学分析室	風量 350m3/h φ200 シロッコファン 天井埋込形	1		100	1	
				本体 銅板 給排気グリルx2 丸形フードx2					

換気設備改修機器表

機器番号	機器名称	設置場所		機器仕様	台数	電動機			備考
		階	室名			KW	V	φ	
HEX-1	全熱交換器	1	研究室	525m3/h 200Pa 200φ 天井埋込形	1	0.39	100	1	本体:銅板
				給排気グリル×2 丸形フード(防虫網付・ステンレス製) ×2					参考型番LGH-N50RXW2 VN-UM650RW FY-M650ZD11
HEX-2	全熱交換器	1	栽培実験室	460m3/h 160Pa 200φ 天井埋込形	1	0.39	100	1	本体:銅板
				給排気グリル×2 丸形フード(防虫網付・ステンレス製) ×2					参考型番LGH-N50RXW2 VN-UM650RW FY-M650ZD11
HEX-3	全熱交換器	1	会議室	630m3/h 150Pa 250φ 天井埋込形	1	0.426	100	1	本体:銅板
				給排気グリル×2 丸形フード(防虫網付・ステンレス製) ×2					参考型番LGH-RN80RXV2 VN-UM800RS FY-M800ZD11
HEX-4	全熱交換器	1	精密機器室	330m3/h 90Pa 200φ 天井埋込形	1	0.205	100	1	本体:銅板
				給排気グリル×2 丸形フード(防虫網付・ステンレス製) ×2					参考型番LGH-RN50RX4 VNC-UM500RW FY-M500ZD11
HEX-5	全熱交換器	1	化学分析室	290m3/h 70Pa 200φ 天井埋込形	1	0.205	100	1	本体:銅板
				給排気グリル×2 丸形フード(防虫網付・ステンレス製) ×2					参考型番LGH-RN50RX4 VNC-UM500RW FY-M500ZD11

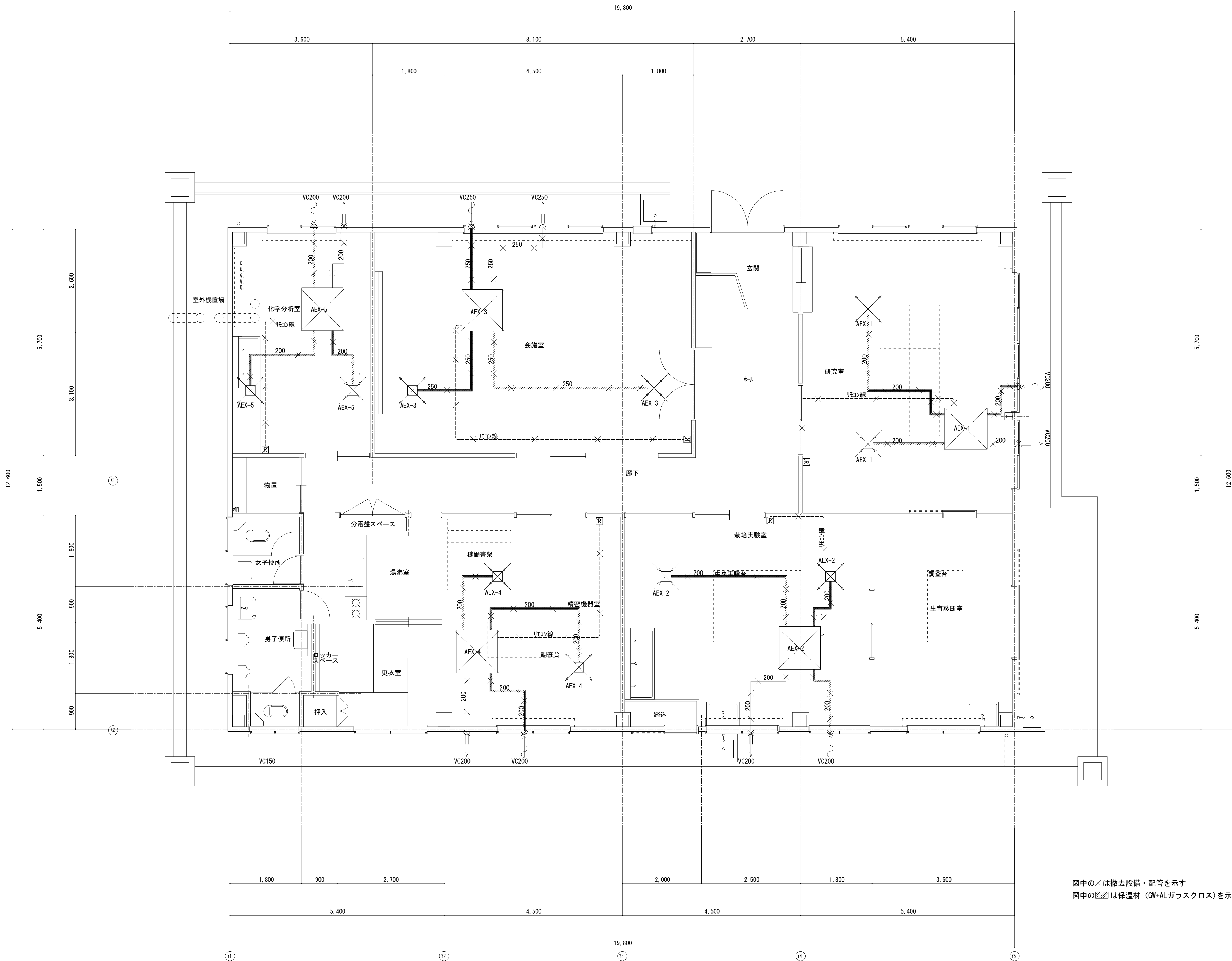
機械設備凡例

	種 別	配管		備 考
		記 号		
○ 共通		管の太さ又は種類を示す場合は、図の下又は右から読めるように図示するか、引出線を用いて図示する。		管種記号は、次の通りにする。 塩ビライニング鋼管: VL ポリ酚体鋼管: PL コーティング鋼管: CT 排水用塩ビライニング鋼管: DVL ステンレス鋼管: SUS 鉄管: CI 鉛管: L 銅管: CU ビニル管: V ポリエチレン管: P コンクリート管: C
	管の太さ及び種類	管の太さ又は種類を同時に示す場合は、管の太さを表わす文字の次に管の種類を表わす記号を記入する。 なお、管種記号は必要に応じて記入する。		
	管の接続状態	接続していないとき 接続しているとき		
	管の立体的表示	立管 立上り 立下り		
	冷媒管	R		
○ 室調	ドレン管	D		
	ダクト管			
	リモコン線	-----		

	種 別	機器及び材料		備 考
		記 号		
○ 室調ダクト	空調送気	SA		
	同上断面	長方形 円形		必要に応じ、記号を記入
	空調送気	RA		
	同上断面	長方形 円形		必要に応じ、記号を記入
	外気又は換気送気	OA		換気送気 VOA
	同上断面	長方形 円形		必要に応じ、記号を記入
	排 気	EA		換気送気 VEA
	同上断面	長方形 円形		必要に応じ、記号を記入
	排煙ダクト	SE		
	同上断面	長方形 円形		必要に応じ、記号を記入
○ 室調ダンパー	吹出口 (壁付き)			
	同上 (天井付き及び床付き)			特殊な形状のものは、これに準じて記入
	吸込口 (壁付き)			
	同上 (天井付き)			特殊な形状のものは、これに準じて記入
	ダンパー			次の記号を記入 風量調節ダンパー: ⑩ 防火ダンパー: ⑪ 排煙ダンパー: ⑫ 防塵ダンパー: ⑬ 排煙ダクト用結露防止ダンパー: ⑭ 防火防煙ダンパー: ⑮ 逆流防止ダンパー: ⑯ モーターダンパー: ⑰ バイパスダンパー: ⑱
	外気取入れガラリ			
	排 気 ガ ラ リ			
	ベントキャップ			必要に応じ、記号及び大きさを記入 (例) 200φの場合VC-200
	たわみ継手			
	風量測定口			
○ 室調消音器	風量測定口			
	フレキシブルダクト			
	消音エルボ			
	定風量ユニット			
	変風量ユニット			
	排煙口 (壁付き)			SE:W×H W:幅 H:高さ
	排煙口 (天井付き)			SE:W×H W:よこ H:たて
	排煙用自動解放装置			
	コイル (加熱)			
	同 上 (冷却)			
○ 換気扇	同 上 (加熱冷却)			
	換 気 扇			

記 録	訂 正

撤 去



図中の×は撤去設備・配管を示す
図中の▨は保温材（GW+ALガラスクロス）を示す

記 録	訂 正

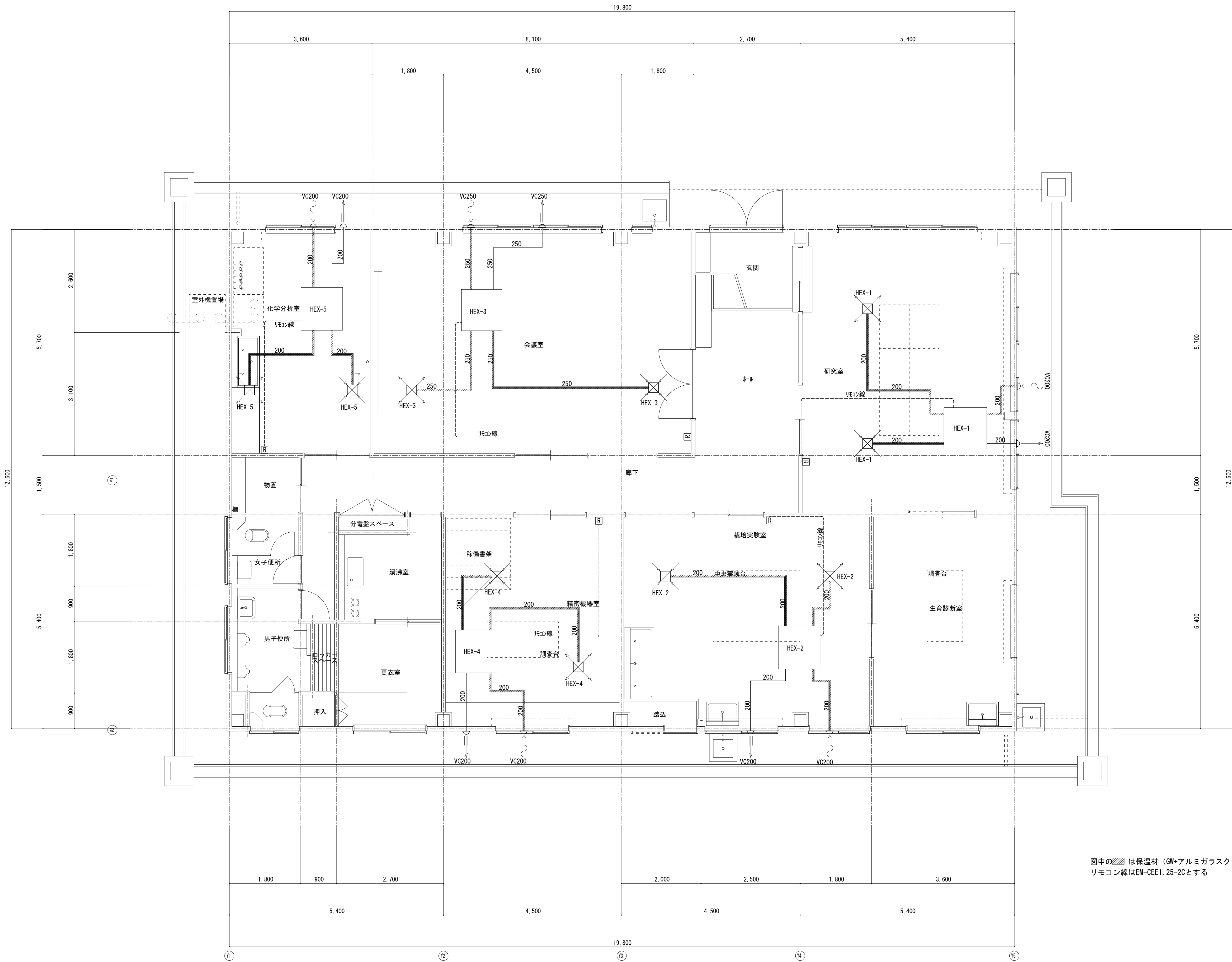
TO KO

株式会社 東宏設計 事務所

一級建築士事務所登録 (千) 第1-2401-440号

一級建築士登録第228307号 大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称 農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事 (計画保全)	図 番
			図 名 換気設備図(撤去)	
			縮 尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	M-06



図中の 〰 は保温材（GW+アルミガラスクロス）を示す
リモコン線はEM-GEE1. 25+2Cとする

記 録	訂 正

TO KO
株式会社
東宏設計
事務所

一級建築士事務所登録（干）第1-2401-440号
一級建築士登録第228307号 大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称 農林総合研究センター水稻・畑地園芸研究所水稻温暖化対策研究室空調設備改修工事（計画保全）	図 番 M-07
			図 名 換気設備図（改修）	
			縮 尺 A1：1/50 A3：1/100	

空調設備 撤去機器表

機器番号	機器名称	設置場所		機器仕様	台数	電動機			備考
		階	室名			KW	V	φ	
AC-1	ツインエアコン	1	研究室	室内機：天井埋込カセット形 4方向	1		200	3	
				冷房能力 13.02KW 暖房能力18.14KW 冷媒ガス R22					
				冷媒管(室内機) 液管 9.5φ ガス管 15.9φ					
				冷媒管(室外機) 液管 9.5φ ガス管 19.1φ					
				ドレン管 VP25 (室内機：2台 室外機：1台)					
AC-2	ツインエアコン	1	栽培実験室	室内機：天井埋込カセット形 4方向	1		200	3	
				冷房能力 13.02KW 暖房能力18.14KW 冷媒ガス R22					
				冷媒管(室内機) 液管 9.5φ ガス管 15.9φ					
				冷媒管(室外機) 液管 9.5φ ガス管 19.1φ					
				ドレン管 VP25 (室内機：2台 室外機：1台)					
AC-3	ツインエアコン	1	会議室	室内機：天井埋込カセット形 4方向	1		200	3	
				冷房能力 14.53KW 暖房能力 19.9KW 冷媒ガス R22					
				冷媒管(室内機) 液管 9.5φ ガス管 15.9φ					
				冷媒管(室外機) 液管 9.5φ ガス管 19.1φ					
				ドレン管 VP25 (室内機：2台 室外機：1台)					
AC-4	エアコン	1	精密機器室	室内機：天井埋込カセット形 4方向	1		200	3	
				冷房能力 7.3KW 暖房能力 10.0KW 冷媒ガス R22					
				冷媒管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ ドレン管 VP25					
AC-5	エアコン	1	化学分析室	室内機：天井埋込カセット形 4方向	1		200	3	
				冷房能力 7.3KW 暖房能力 10.0KW 冷媒ガス R22					
				冷媒管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ ドレン管 VP25					
(AC-6)	エアコン	1	更衣室	冷房能力 2.2KW 暖房能力 3.2KW 冷媒ガス R22	1		100	1	室内機：壁掛形
				冷媒管 液管 6.4φ ガス管 9.5φ ドレン管14φ					継続使用
(AC-7)	エアコン	1	会議室	冷房能力 8.0KW 暖房能力 9.5KW 冷媒ガス R32	1		200	1	室内機：壁掛形
				冷媒管 液管 6.4φ ガス管 12.7φ ドレン管 16φ					継続使用

空調設備 改修機器表

機器番号	機器名称	設置場所		機器仕様	台数	電動機			備考
		階	室名			KW	V	φ	
AC-1	ツインエアコン	1	研究室	室内機：天井埋込カセット形 4方向	1	2.45	200	3	EHP P140
				冷房能力 12.5KW 暖房能力 14.0KW					ワイヤードリモコン
				冷媒ガス R32 ドレン管 VP25					参考型番SZRC140BYD
				室外機・室内機 冷媒管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ					PLZ-ERMP140H5
									RCI-GP140RGHP11
AC-2	ツインエアコン	1	栽培実験室	室内機：天井埋込カセット形 4方向	1	2.45	200	3	EHP P140
				冷房能力 12.5KW 暖房能力 14.0KW					ワイヤードリモコン
				冷媒ガス R32 ドレン管 VP25					参考型番SZRC140BYD
				室外機・室内機 冷媒管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ					PLZ-ERMP140H5
									RCI-GP140RGHP11
AC-3	ツインエアコン	1	会議室	室内機：天井埋込カセット形 4方向	1	3.08	200	3	EHP P160
				冷房能力 14.0KW 暖房能力 16.0KW					ワイヤードリモコン
				冷媒ガス R32 ドレン管 VP25					参考型番SZRC160BYD
				室外機・室内機 冷媒管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ					PLZ-ERMP160H5
									RCI-GP160RGHP11
AC-4	エアコン	1	精密機器室	室内機：天井埋込カセット形 4方向	1	1.70	200	3	EHP P80
				冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW					ワイヤードリモコン
				冷媒ガス R32 ドレン管 VP25					参考型番SZRC80BYT
				冷媒管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ					PLZ-ERMP80H5
									RCI-GP80RGH9
AC-5	エアコン	1	化学分析室	室内機：天井埋込カセット形 4方向	1	1.70	200	3	EHP P80
				冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW					ワイヤードリモコン
				冷媒ガス R32 ドレン管 VP25					参考型番SZRC80BYT
				冷媒管 液管 9.5φ ガス管 15.9φ					PLZ-ERMP80H5
									RCI-GP80RGH9
(AC-6)	エアコン	1	更衣室	冷房能力 2.2KW 暖房能力 3.2KW	1	0.75	100	1	EHP 住宅用6畳
	壁掛形			冷媒ガス R22 ドレン管 14φ					継続使用
				冷媒管 液管 6.4φ ガス管 9.5φ					
(AC-7)	エアコン	1	会議室	冷房能力 8.0KW 暖房能力 9.5KW	1	2.10	200	1	室内機：壁掛形
	壁掛形			冷媒ガス R32 ドレン管 16φ					継続使用
				冷媒管 液管 6.4φ ガス管 12.7φ					

記 録	訂 正

株式会社

一級建築士事務所登録（千）第1-2401-440号

一級建築士登録第228307号

TO KO

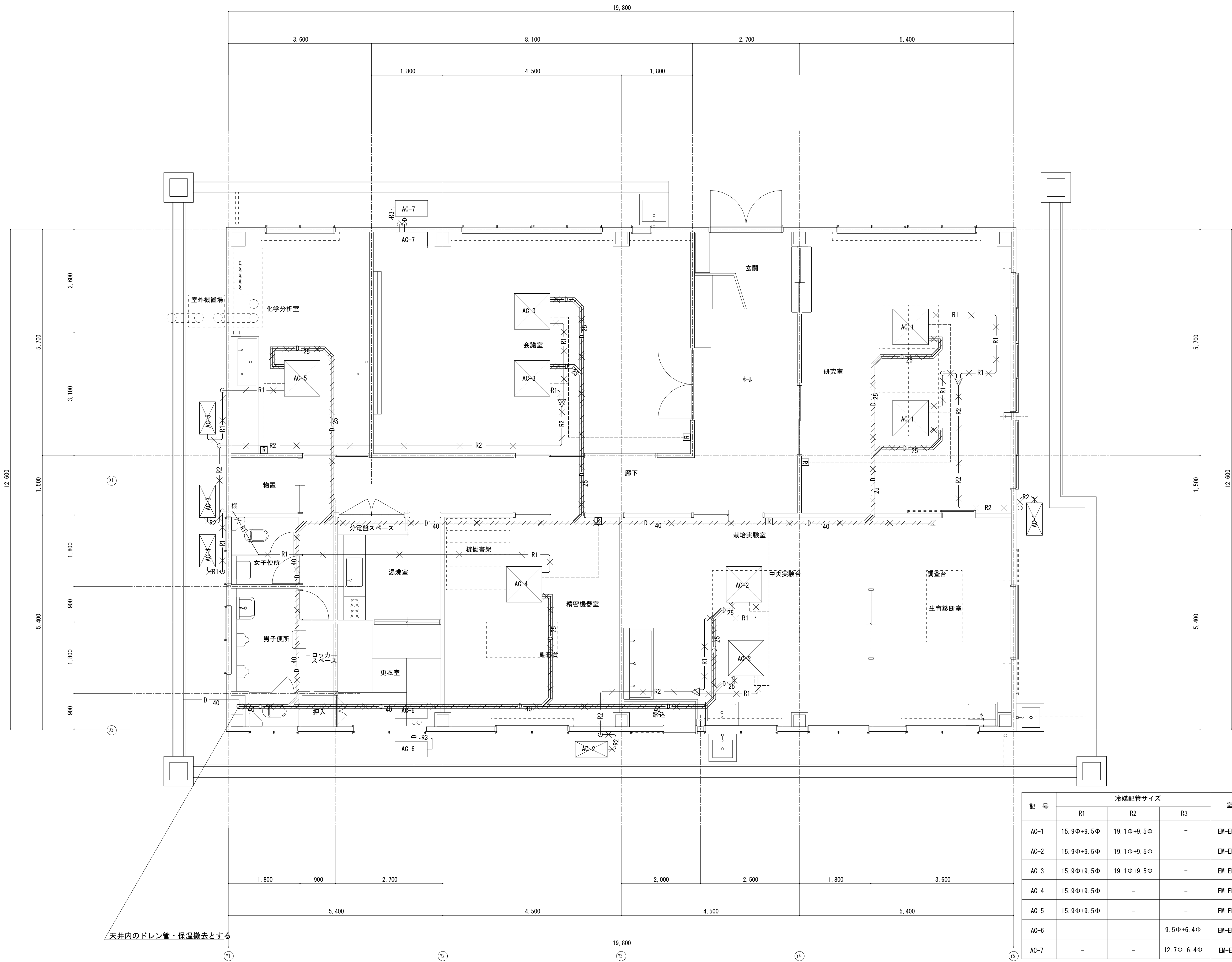
東宏設計

事務所

大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称 農林総合研究センター水稻・畑地園芸研究所水稻温暖化対策研究室空調設備改修工事（計画保全）	図 番 M-08
			図 名 空調設備機器表	
			縮 尺 A1：1/1 A3：1/1	

撤 去



記 号	冷媒配管サイズ			室内外連絡配線	保温外装	ドレン管	備 考
	R1	R2	R3				
AC-1	15.9Φ+9.5Φ	19.1Φ+9.5Φ	-	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	VP25	
AC-2	15.9Φ+9.5Φ	19.1Φ+9.5Φ	-	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	VP25	
AC-3	15.9Φ+9.5Φ	19.1Φ+9.5Φ	-	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	VP25	
AC-4	15.9Φ+9.5Φ	-	-	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	VP25	
AC-5	15.9Φ+9.5Φ	-	-	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	VP25	
AC-6	-	-	9.5Φ+6.4Φ	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	断熱ドレンホース	継続使用
AC-7	-	-	12.7Φ+6.4Φ	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	断熱ドレンホース	継続使用

図中の×は撤去設備・配管を示す
図中の断熱材を示す
リモコン線は残置とする

記 録	訂 正

株式会社

TO KO

東宏設計

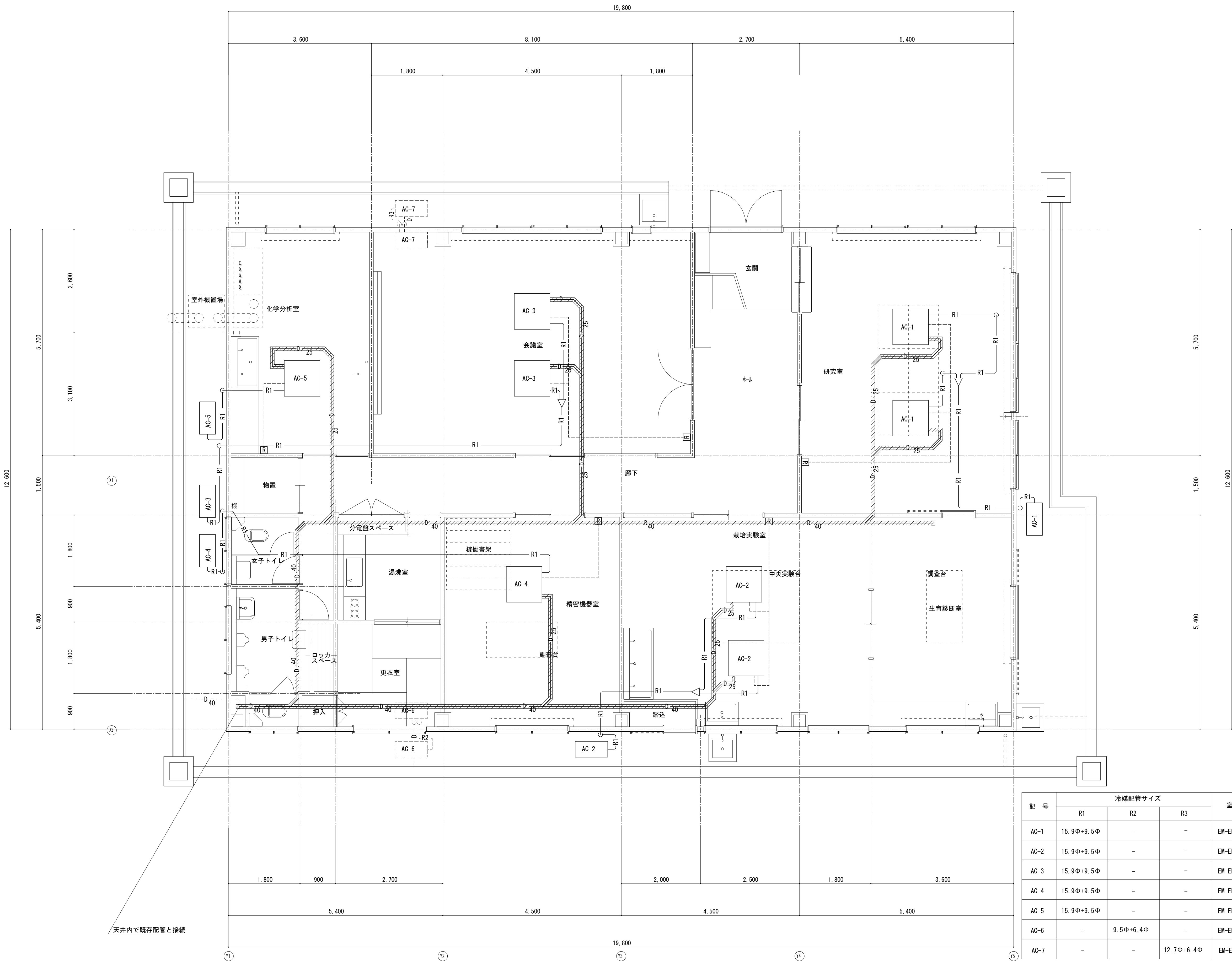
事務所

一級建築士事務所登録 (〒) 第 1-2401-440号

一級建築士登録第 228307号

大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称 農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事 (計画保全)	図 番
			図 名 空調設備図 (撤去)	M-09
			縮 尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	



記 号	冷媒配管サイズ			室内外連絡配線	保温外装	ドレン管	備 考
	R1	R2	R3				
AC-1	15.9Φ+9.5Φ	-	-	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	VP25	
AC-2	15.9Φ+9.5Φ	-	-	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	VP25	
AC-3	15.9Φ+9.5Φ	-	-	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	VP25	
AC-4	15.9Φ+9.5Φ	-	-	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	VP25	
AC-5	15.9Φ+9.5Φ	-	-	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	VP25	
AC-6	-	9.5Φ+6.4Φ	-	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	断熱ドレンホース	継続使用
AC-7	-	-	12.7Φ+6.4Φ	EM-EEF2.0-3C	樹脂製ケース	断熱ドレンホース	継続使用

屋外機基礎は再利用とする
図中の 〰〰〰 は保温材を示す
 R1 線は再利用とする

記 録	訂 正

株式会社

TO KO

東宏設計

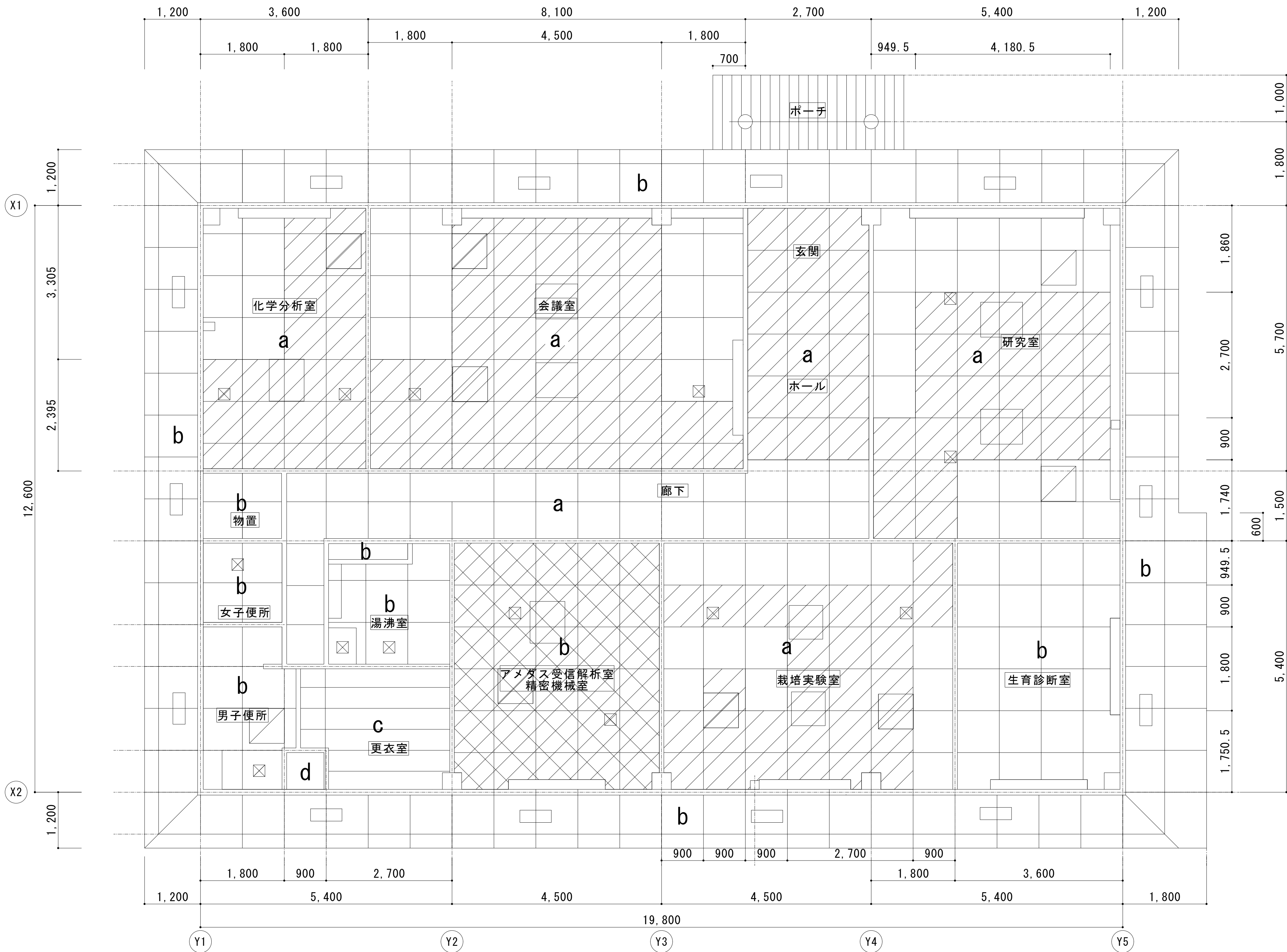
事務所

一級建築士事務所登録 (千) 第1-2401-440号

一級建築士登録第228307号

大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称 農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事 (計画保全)	図 番 M-10
			図 名 空調設備図 (改修)	
			縮 尺 A1 : 1/50 A3 : 1/100	



符号等	改 修 前	改 修 後
a	化粧石膏ボード t=9 【工事範囲撤去】	化粧石膏ボード t=9.5 突付張り【工事範囲新設・廻縁共】 LGS下地【既存のまま】
b	ケイ酸カルシウム板 t=6 目透貼 AEP塗 【工事範囲撤去】	ケイ酸カルシウム板 t=6 目透貼 EP塗 【工事範囲新設・廻縁共】 LGS下地【既存のまま】
c	長尺杉柵石コウボード目透かし	—
d	ラワン合板 t=4	—
e	アルミスバンドレル（カラー） t=1.2	—
	軒下換気孔ステンレス180×380×0.5	—
	天井点検口 アルミ枠 600 角 【工事範囲撤去：6ヵ所】	天井点検口 アルミ枠 450 角【工事範囲新設：6ヵ所】
	アルミカーテンBOX 150幅	残置
	天井換気扇	天井換気扇
	天井付クーラー孔補強 900×700、700×700	—

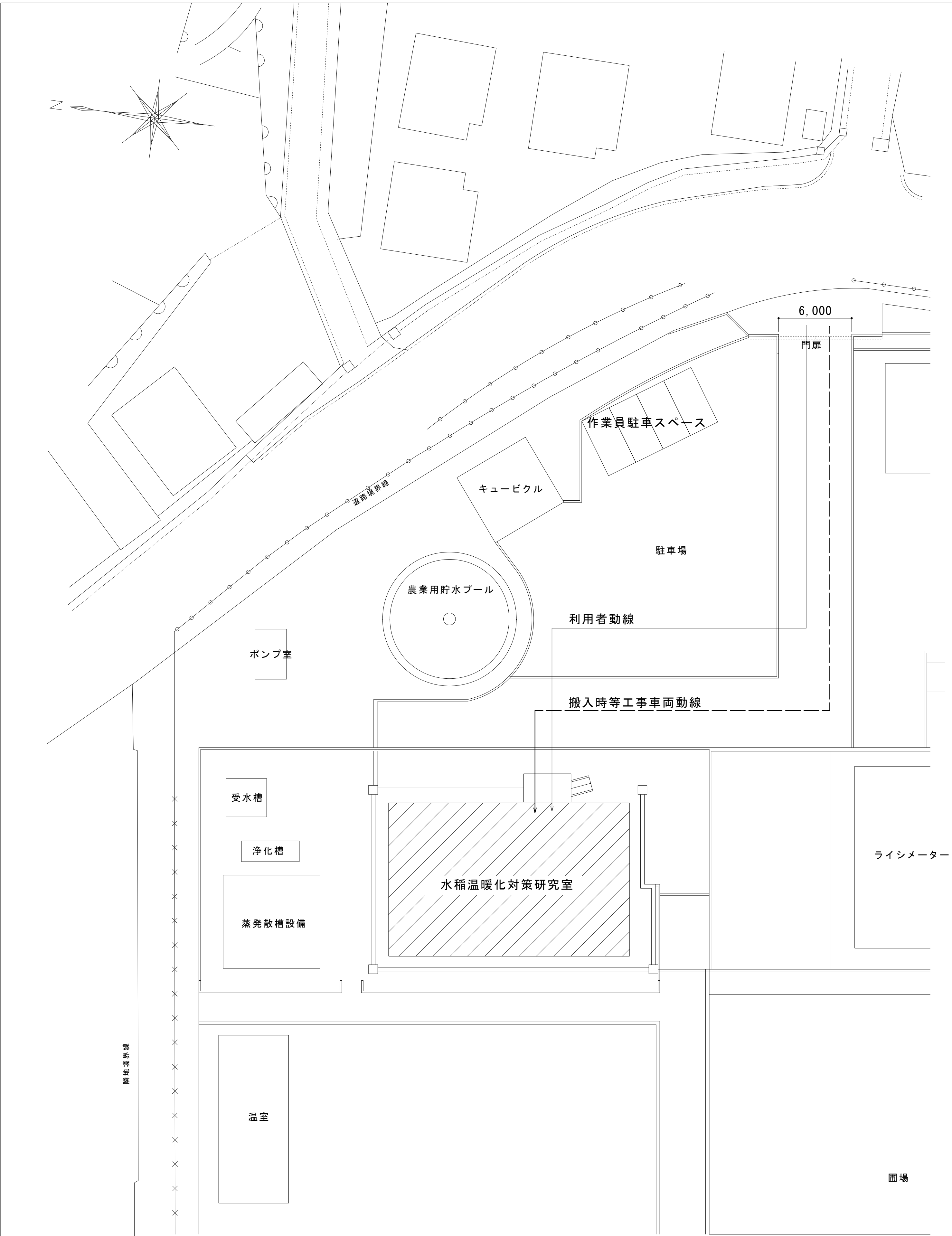
- 工事範囲
- 工事範囲（アスベスト含有建材）

※アスベスト含有建材：b ケイ酸カルシウム板第1種 t6(レベル3)
※以下の室は施工終了時に室内空気中の化学物質の濃度測定を実施すること
研究室、会議室、化学分析室、栽培実験室、アメダス受信解析室（精密機械室）

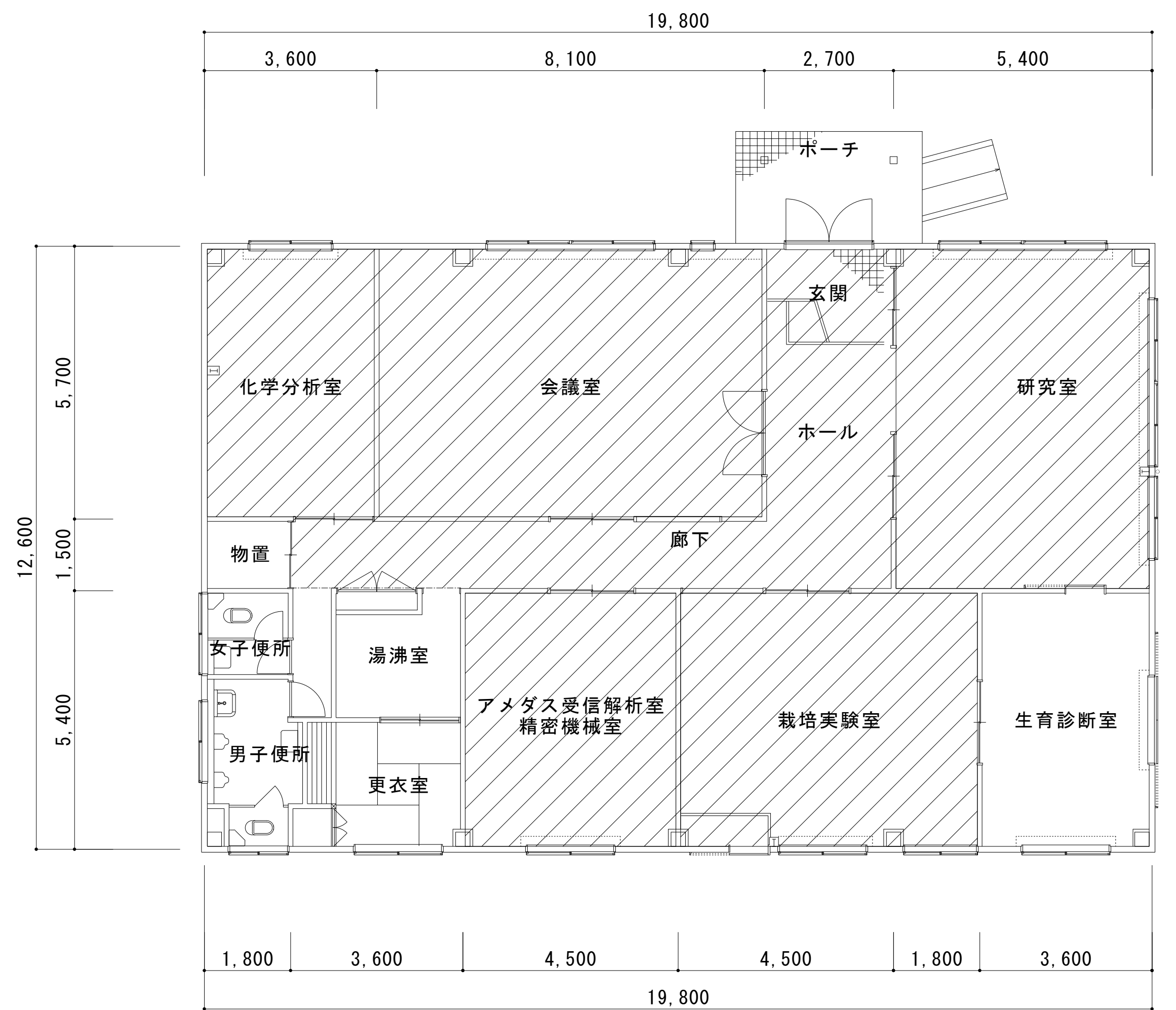
記 録	訂 正

株式会社 東宏設計 事務所
一級建築士事務所登録 (千) 第1-2401-440号
一級建築士登録第228307号 大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事（計画保全）	図 番
			図 名	天井伏図（改修前・後）	
			縮 尺	A1：1/50 A3：1/100	M-11



配置図 S=1/200



平面図 S=1/80

内部足場（脚立）・養生

記 録	訂 正

A

株式会社

TQ KQ

東宏設計

事務所

一級建築士事務所登録（千）第1-2401-440号

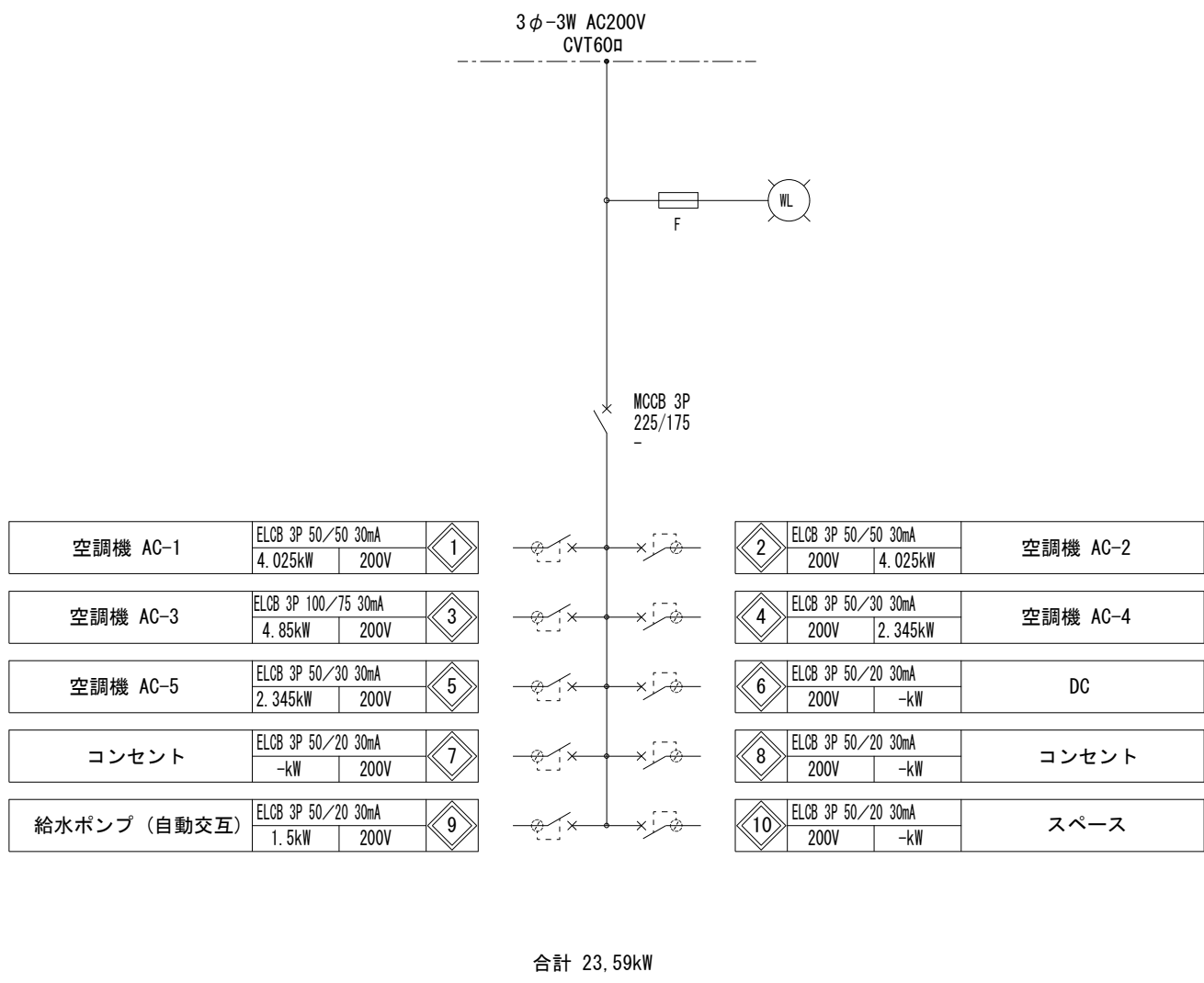
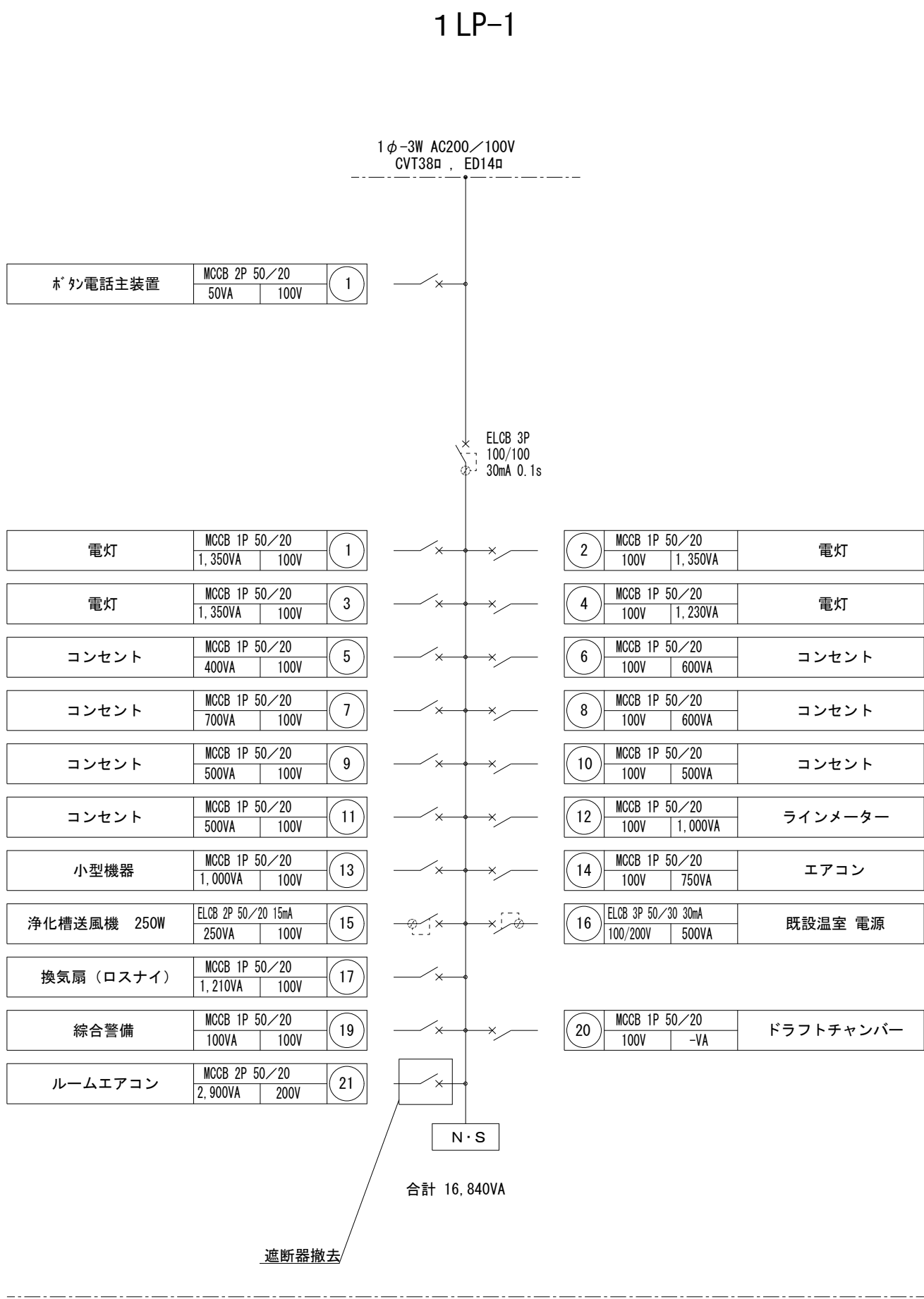
一級建築士登録第228307号 大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称	図 番
			農林総合研究センター水稻・畑地園芸研究所水稻温暖化対策研究室空調設備改修工事（計画保全）	
			仮設計画図（参考図）	
縮 尺	A1：1/80 1/200 A3：1/160 1/400			M-12

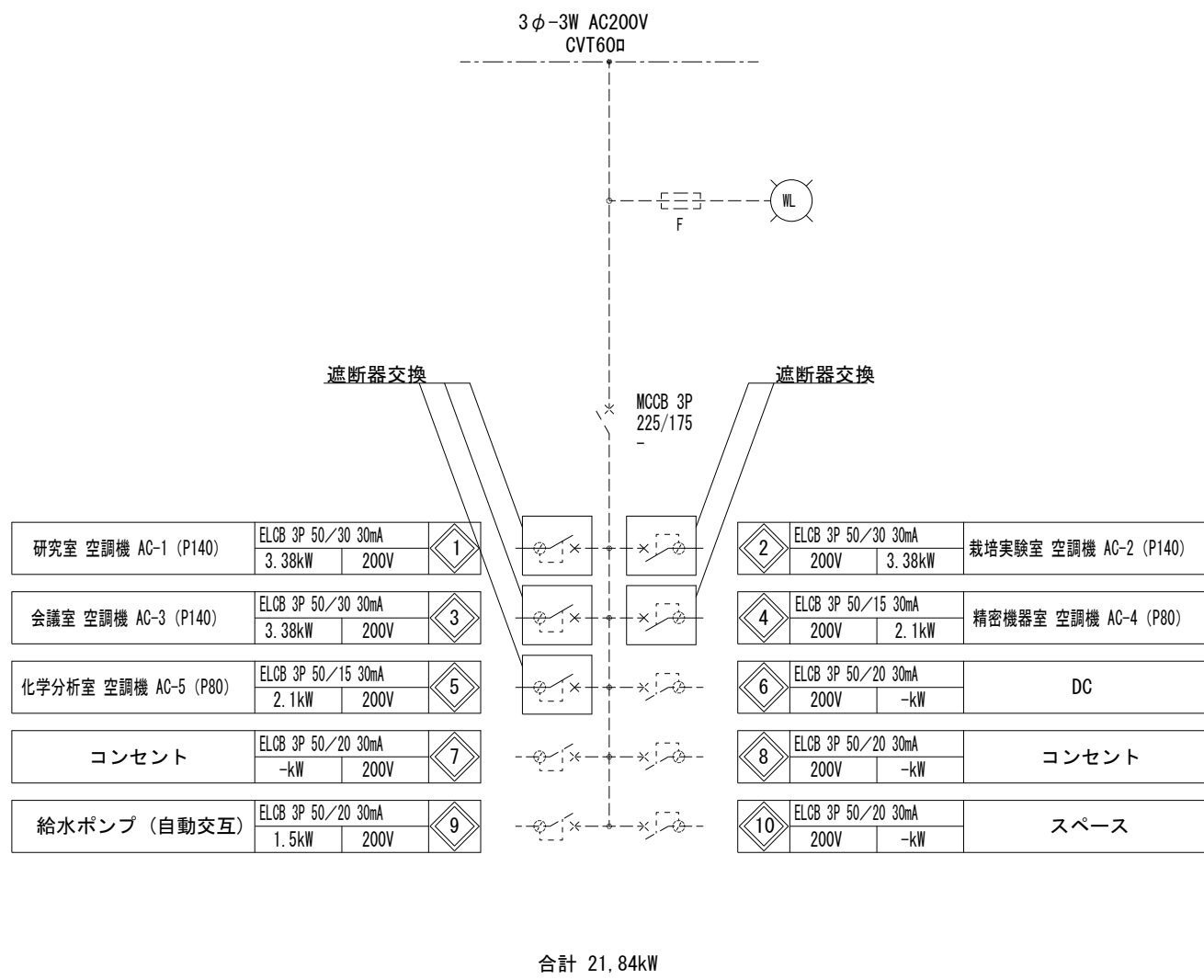
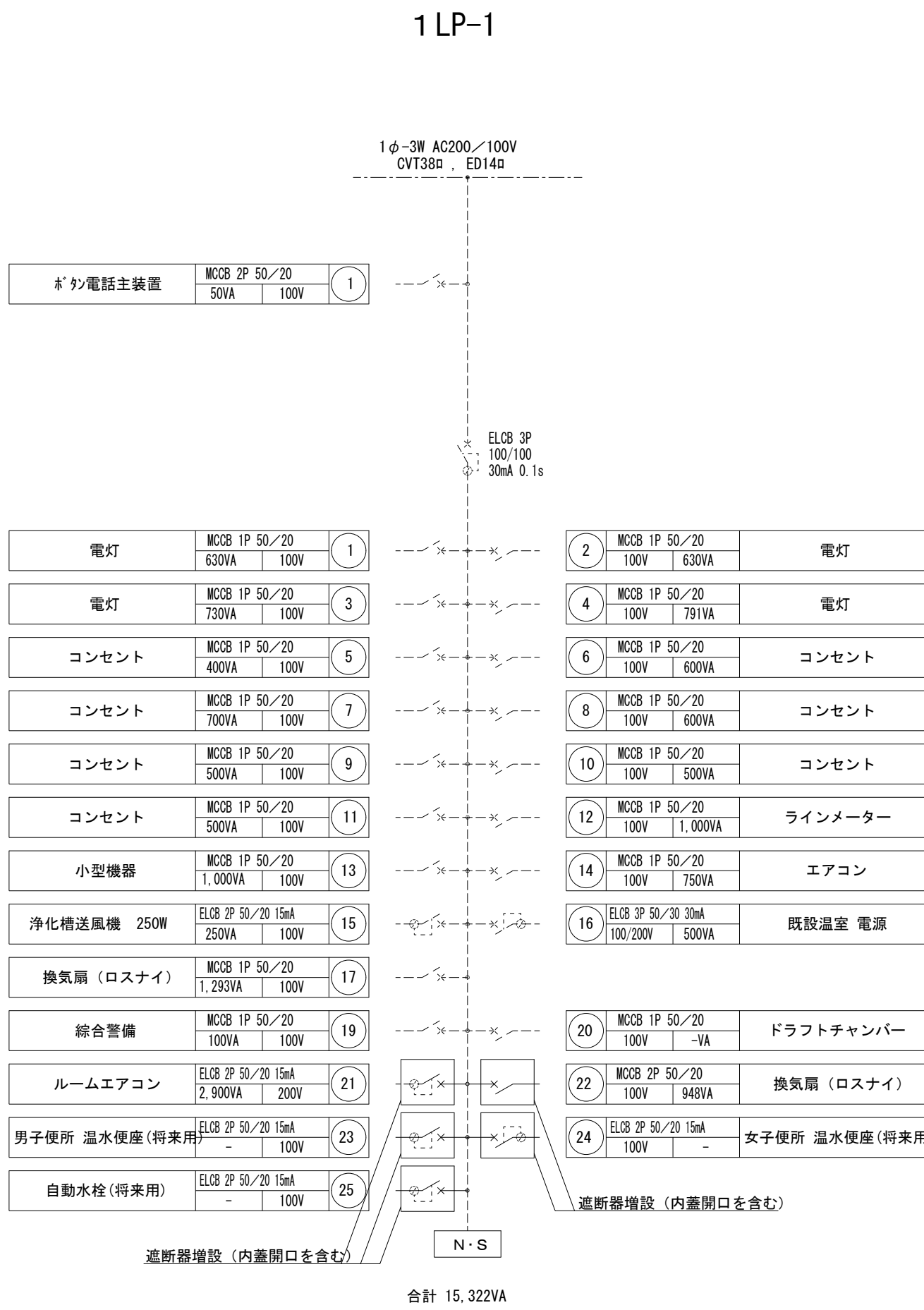
[illegible]

条件明示 ● 印の付いたものを適用し、○ 印のものは機械設備工事特記仕様書を参照すること。			（設計者等表示欄）※ ※ 設計者等表示欄は建築士法に基づき、建築士等がその業務に必要な表示行為を行う場合等に作成する。			工 事 名	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲 温暖化対策研究室空調設備改修工事（計画保全）	製 図 年 月 日	E 1 千葉県
						図 名	電気設備工事特記仕様書（Ⅰ） R7.12		

改修前

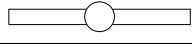


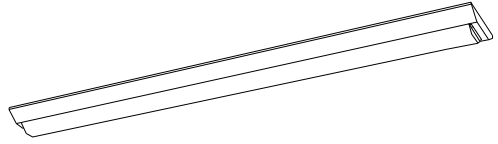
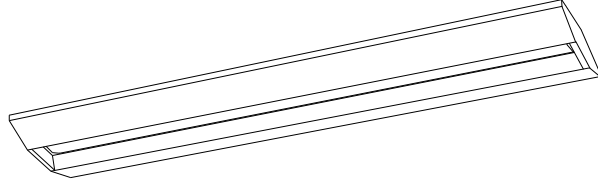
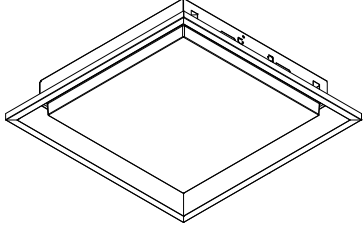
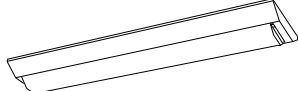
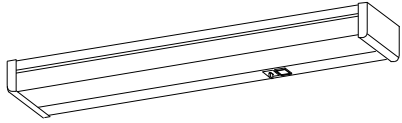
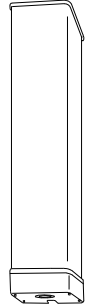
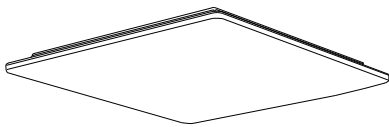
改修後



記 録	訂 正

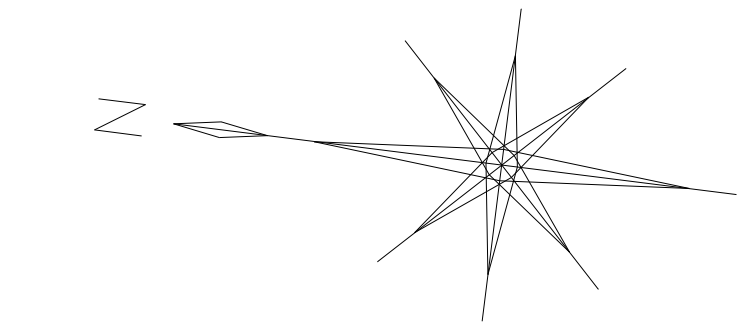
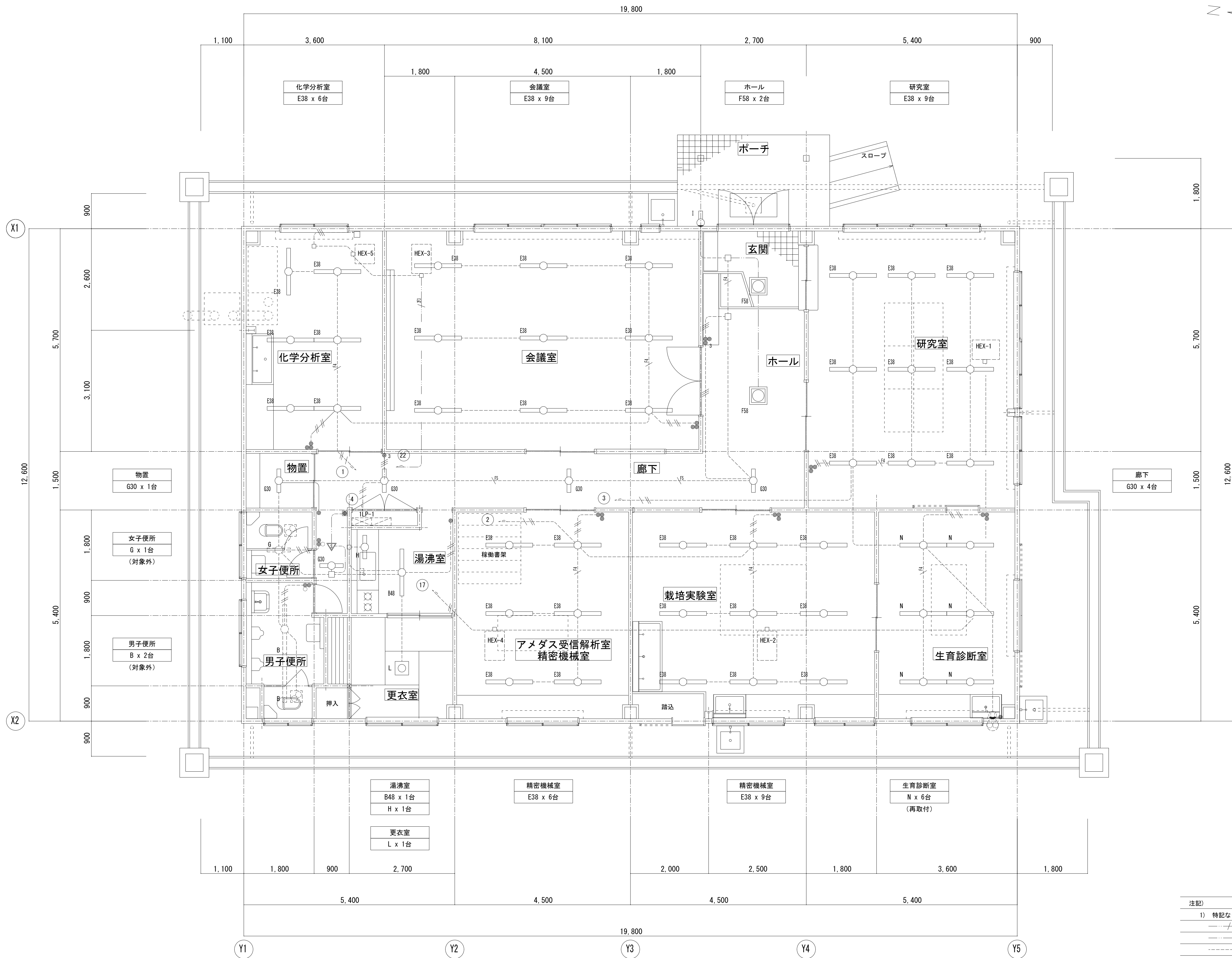
設 計	日 付	承 認	名 称	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事 (計画保全)	図 番
	2025. 11. 13		図 名	分電盤 単線結線図 (改修前・改修後)	
			縮 尺	NON	E-03

記 号	名 称	備 考
	電灯分電盤	-
	動力盤	-
	プルボックス	-
	アウトレットボックス	-
	接地極	傍記は種類
	LED（40型）・蛍光灯 40W-1灯用	姿図参照
	LED（20型）・蛍光灯 20W-1灯用	姿図参照
	LEDスクエアライト（埋込型）	姿図参照
	LEDシーリングライト	姿図参照
	埋込タンプススイッチ 1P15A	-
	センサ 親機（8A）	-
	操作ユニット（1回路式）	金属製ガードプレート付
	換気扇（天井付）	-
	埋込コンセント 2P15A x 1（接地端子付）	2個以上は傍記による
	撤去	-

B48	LEDベースライト（40型）	E38	LEDベースライト（40型）
公共型番：LSS9-4-48		公共型番：LSS7H-4-38	
			
F58	LED埋込型スクエアライト	G30	LEDベースライト（20型）
公共型番：LRS15-3-58		公共型番：LSS9-2-30	
			
H	LEDキッチンライト	I	LEDウォールライト（20型）
20形直管蛍光灯1灯器具相当		センサ付き	
			
昼白色（5000K）、Ra83 器具光束980lm、消費電力12W、電圧100V 拡散タイプ、天井直付型・壁直付型 カバー：プラスチック（乳白） タッチレススイッチ付		LED内蔵、電源ユニット内蔵 防雨型、ひと（熱線）センサ・EEセンサ付（約30～100%段調光） 5000K、Ra83、光束維持時間40000時間（光束維持率85%） 器具光束1470lm、消費電力14.9W、電圧100～242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 壁直付型、保護等級：IP23	
L	LEDシーリングライト		
パナソニック LGC65124相当品			
			
昼光色（6500K）、Ra83／電球色（2700K）、Ra83 器具光束5630lm、消費電力41W、電圧100V LED内蔵、電源ユニット内蔵、プッシュプル方式、カチットF 光源寿命40000時間（光束維持率70%） カバー：アクリル（乳白つや消し） リモコンで（100%～5%）調光、専用リモコン送信器同梱			

記 録	訂 正

設 計	日 付	承 認	名 称	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事（計画保全）	図 番
	2025. 11. 17		図 名	電気工事凡例 / 照明器具 機器姿図	E-04
			縮 尺	NON	



- 注記)
- 1) 特記なき限り配線、配管は以下の通り。
- EM-EFP2.0-3C (1toE)
- EM-EFP1.6-3C (1toE)
- 既設配線・配管
- 2) 記号NのLEDベースライトは、取外し再取付とする。
- 3) 男子便所・女子便所の照明は既設のままとする。

記 録	訂 正

TO KO

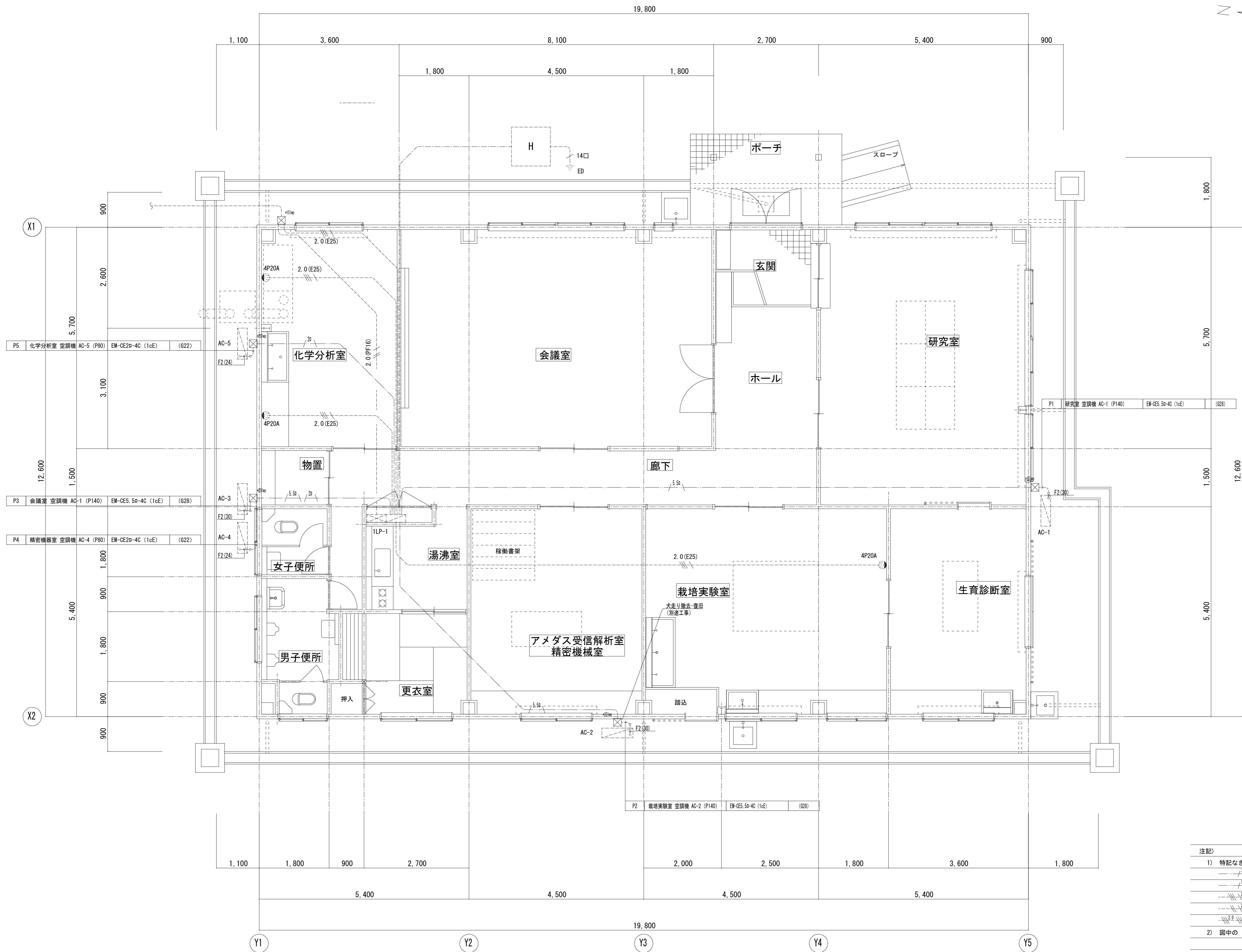
東宏設計

事務所

株式会社

一級建築士事務所登録 (千) 第1-2401-440号
一級建築士登録第228307号 大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事 (計画保全)	図 番
	2025. 10. 29		図 名	電灯設備 平面図 (改修後)	E-05
			縮 尺	A1 : 1/50 A3 : 1/100	



注記	
1)	特記なき限り配線、配管は以下の通り。
	EM-OE2a-4C (1cE)
	EM-OES.5a-4C (1cE)
	IV2.0x3, E1.6 (E25) *既設配線・配管
	IV2.0x2, E1.6 (PF22) *既設配線・配管
	IV2.0x3, IV5.5a x 3, E5.5a (E31) *既設配線・配管
2)	図中の ☒ は、フルボックスを示す。
	* 151wp : PB150□x100 溶融亜鉛メッキ (防水)
	* 201wp : PB200□x100 溶融亜鉛メッキ (防水)
	* 251wp : PB250□x100 溶融亜鉛メッキ (防水)

記 録	訂 正

株式会社

TO KO

東宏設計

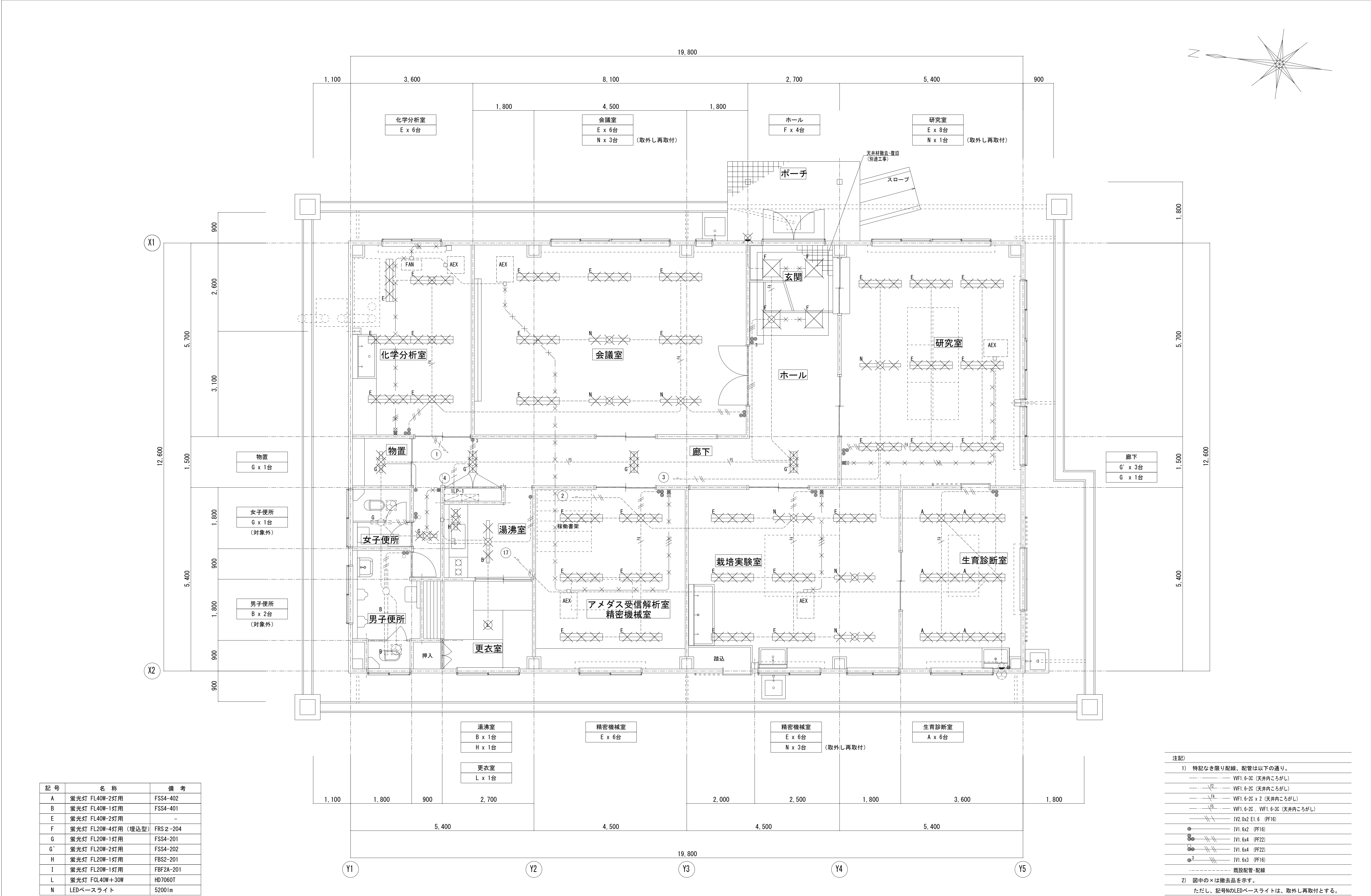
事務所

一級建築士事務所登録 (千) 第1-2401-440号

一級建築士登録第228307号

大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事 (計画保全)	図 番
	2025. 10. 29		図 名	動力設備 平面図 (改修図)	E-06
			縮 尺	A1 : 1/50 A3 : 1/100	



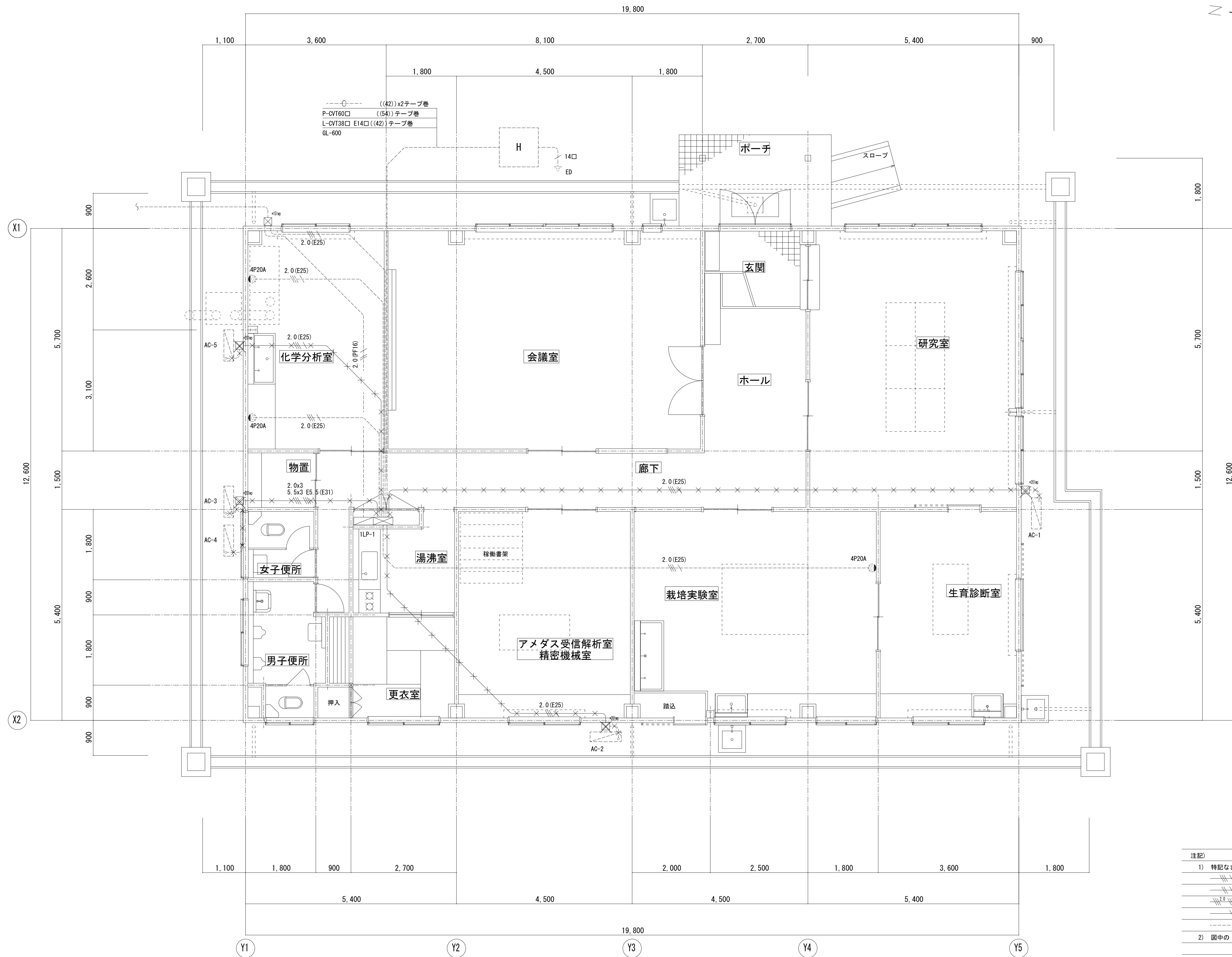
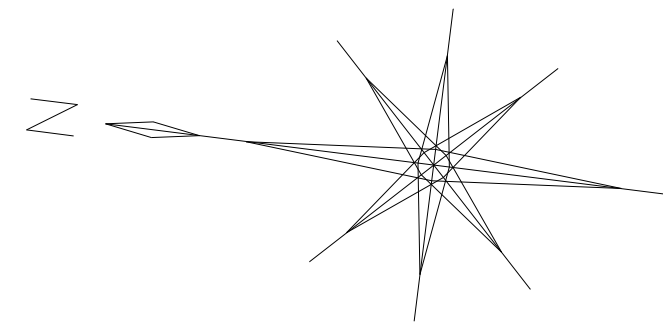
記号	名称	備考
A	蛍光灯 FL40W-2灯用	FSS4-402
B	蛍光灯 FL40W-1灯用	FSS4-401
E	蛍光灯 FL40W-2灯用	-
F	蛍光灯 FL20W-4灯用 (埋込型)	FRS 2-204
G	蛍光灯 FL20W-1灯用	FSS4-201
G'	蛍光灯 FL20W-2灯用	FSS4-202
H	蛍光灯 FL20W-1灯用	FBS2-201
I	蛍光灯 FL20W-1灯用	FBF2A-201
L	蛍光灯 FCL40W+30W	HD7060T
N	LEDベースライト	5200lm

注記)
1) 特記なき限り配線、配管は以下の通り。
..... VF1.6-3C (天井内ころがし)
..... VF1.6-2C (天井内ころがし)
..... VF1.6-2C x 2 (天井内ころがし)
..... VF1.6-2C , VF1.6-3C (天井内ころがし)
..... IV2.0x2 E1.6 (PF16)
..... IV1.6x2 (PF16)
..... IV1.6x4 (PF22)
..... IV1.6x4 (PF22)
..... IV1.6x3 (PF16)
..... 既設配管・配線
2) 図中の×は撤去品を示す。
ただし、記号NのLEDベースライトは、取外し再取付とする。

記 録	訂 正

株式会社 東宏設計 事務所
一級建築士事務所登録 (千) 第1-2401-440号
一級建築士登録第228307号 大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事 (計画保全)	図 番
	2025. 09. 28		図 名	電灯設備 平面図 (撤去図)	E-07
			縮 尺	A1 : 1/50 A3 : 1/100	

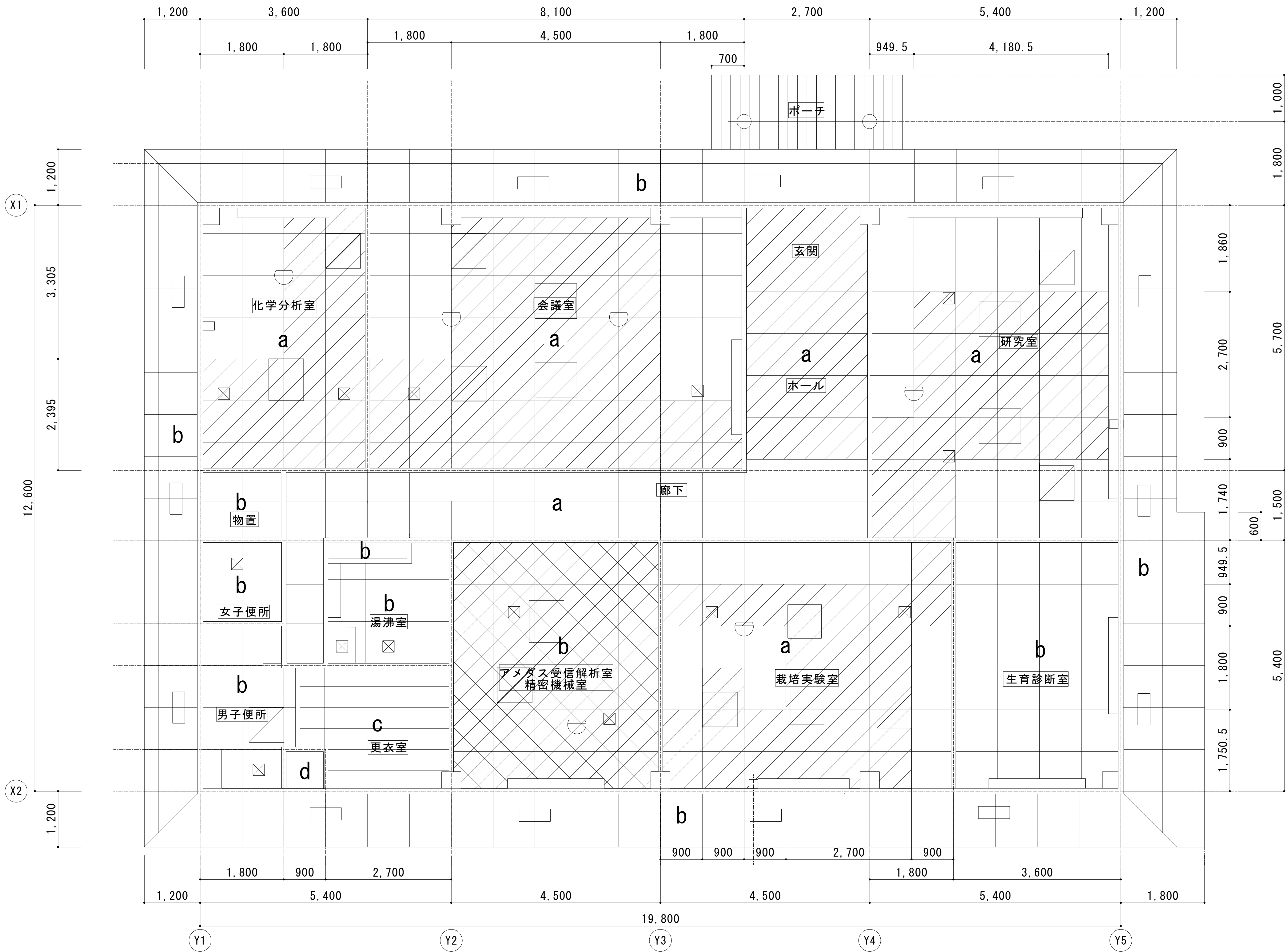


注記)	
1)	特記なき限り配線、配管は以下の通り。
	IV2.0x3, E1.6 (E25)
	IV2.0x2, E1.6 (PF22)
	IV2.0x3, IV5.5a x 3, E5.5a (E31)
	E14a
既設配管・配線	
2)	図中の は、プルボックスを示す。
* 151wp : PB150□x100 溶融亜鉛メッキ	
* 201wp : PB200□x100 溶融亜鉛メッキ	
3)	図中の×は撤去品を示す。

記 録	訂 正

株式会社 東宏設計 事務所
一級建築士事務所登録 (千) 第1-2401-440号
一級建築士登録第228307号 大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事 (計画保全)	図 番
	2025. 08. 12		図 名	動力設備 平面図 (撤去図)	E-08
			縮 尺	A1 : 1/50 A3 : 1/100	



符号等	改 修 前	改 修 後
a	化粧石膏ボード t=9 【工事範囲撤去】	化粧石膏ボード t=9.5 突付張り【工事範囲新設・廻縁共】 LGS下地【既存のまま】
b	ケイ酸カルシウム板 t=6 目透貼 AEP塗 【工事範囲撤去】	ケイ酸カルシウム板 t=6 目透貼 EP塗 【工事範囲新設・廻縁共】 LGS下地【既存のまま】
c	長尺杉柵石コウボード目透かし	—
d	ラワン合板 t=4	—
e	アルミスバンドレル（カラー） t=1.2	—
	軒下換気孔ステンレス180×380×0.5	—
	天井点検口 アルミ枠 600 角 【工事範囲撤去：6ヵ所】	天井点検口 アルミ枠 450 角【工事範囲新設：6ヵ所】
	アルミカーテンBOX 150幅	残置
	天井換気扇	天井換気扇
	天井付クーラー孔補強 900×700、700×700	—

- 感知器 × 6台 取外し再取付
- 工事範囲
- 工事範囲（アスベスト含有建材）

※アスベスト含有建材：b ケイ酸カルシウム板第1種 t6(レベル3)

記 録	訂 正

株式会社 東宏設計 事務所

一級建築士事務所登録（千）第1-2401-440号

一級建築士登録第228307号 大 木 建 雄

設 計	日 付	承 認	名 称	農林総合研究センター水稲・畑地園芸研究所水稲温暖化対策研究室空調設備改修工事（計画保全）	図 番
	2025.09.01		図 名	弱电設備 平面図（取外し再取付）	
			縮 尺	A1：1/50 A3：1/100	E-09